

令和4年度 行政評価結果報告書

静岡県吉田町

目 次

1	行政評価結果報告書の概要	1	コミュニティ	32
			多文化共生	33
			賑わいづくり	33
2	行政評価報告書		第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	36
	第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	4	幼児教育	37
	地震・防災対策	5	学校教育	37
	治山治水対策	6	地域教育	39
	交通安全対策	7	青少年健全育成	40
	くらし安全	8	芸術文化・文化財	40
	消防・救急	8	生涯学習	41
	第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	10	スポーツ・レクリエーション	42
	健康づくり	11	第6章 豊かな自然と共生するまちづくり	44
	地域医療	12	上水道	45
	地域福祉	13	下水道・浄化槽・し尿処理	46
	社会保障（国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護）	14	環境衛生	47
	子育て支援	16	ごみ減量・リサイクル	48
	高齢者福祉	19	地球温暖化防止対策	48
	障害者福祉	19	第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	49
	第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり	21	行財政	50
	農業	22	高度情報化	55
	水産業	23	情報公開	56
	商工業	24	広報・広聴	56
	観光	24	住民参画	56
	新産業	25	男女共同参画・人権尊重	57
	企業誘致	25	ユニバーサルデザイン	58
	雇用・就業対策	25		
	第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	27		
	土地利用	28		
	住環境	29		
	公園・緑地・水辺	30		
	道路網	31		
	生活交通	32		

行政評価結果報告書の概要

1 行政評価結果報告書について

この報告書は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C (Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、後期基本計画における章及び分野ごとに取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本報告書における項目の説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「令和3年度の予算事業」…令和3年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「令和4年度の実施状況」…令和4年度の実施計画事業に対する実施状況については、令和4年6月1日時点における内容を取りまとめたものになります。
- ⑤ 「令和5年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

3 分野別における「令和3年度決算額」及び「令和5年度の方針性」の集計結果まとめ

章	分野	令和3年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	地震・防災対策	292,971	7	1	0	0	0
	治山治水対策	37,284	4	0	2	0	0
	交通安全対策	25,128	3	0	0	0	0
	くらし安全	44	1	0	0	0	0
	消防・救急	306,423	5	0	0	0	0
章の合計		661,850	20	1	2	0	0
第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	健康づくり	378,413	6	0	0	0	0
	地域医療	450,232	4	0	0	0	0
	地域福祉	179,630	5	1	0	0	0
	社会保障	5,828,956	9	0	0	0	0
	子育て支援	1,329,282	10	2	0	0	0
	高齢者福祉	65,373	2	2	0	0	0
	障害者福祉	677,101	4	0	0	0	0
章の合計		8,908,987	40	5	0	0	0
第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり	農業	47,790	8	1	1	0	0
	水産業	330,380	4	0	1	0	0
	商工業	115,792	2	0	0	0	0
	観光	20,250	0	2	0	0	0
	新産業	3,366	1	0	0	0	0
	企業誘致	220	1	0	0	0	0
	雇用・就業対策	2,952	2	0	0	0	0
章の合計		520,750	18	3	2	0	0
第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	土地利用	5,396	3	0	0	0	0
	住環境	43,908	5	1	0	0	0
	公園・緑地・水辺	47,895	4	2	1	0	0
	道路網	269,702	8	2	1	0	0
	生活交通	14,716	1	0	0	0	0
	コミュニティ	39,908	3	0	0	0	0
	多文化共生	449	0	1	0	0	0
	賑わいづくり	479,400	3	4	0	0	0
章の合計		901,374	27	10	2	0	0

章	分野	令和3年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	幼児教育	93,258	0	1	0	0	0
	学校教育	355,728	11	2	0	0	0
	地域教育	2,334	2	0	0	0	0
	青少年健全育成	579	1	0	0	0	0
	芸術文化・文化財	2,950	2	0	0	0	0
	生涯学習	190,854	6	2	0	0	0
	スポーツ・レクリエーション	35,641	2	2	0	0	0
章の合計		681,344	24	7	0	0	0
第6章 豊かな自然と共生するまちづくり	上水道	892,688	7	0	0	0	0
	下水道・浄化槽・し尿処理	2,342,799	8	1	0	0	0
	環境衛生	36,330	5	0	0	0	0
	ごみ減量・リサイクル	485,520	2	0	0	0	0
	地球温暖化防止対策	300	1	0	0	0	0
章の合計		3,757,637	23	1	0	0	0
第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	行財政	2,193,970	26	6	3	0	0
	高度情報化	75,513	0	1	0	0	0
	情報公開	2,764	1	0	0	0	0
	広報・広聴	11,096	1	0	0	0	0
	住民参画	386	2	0	0	0	0
	男女共同参画・人権尊重	2,517	2	1	0	0	0
	ユニバーサルデザイン	0	1	0	0	0	0
章の合計		2,286,246	33	8	3	0	0
合計		17,718,188	185	35	9	0	0

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り

分 野 1 地 震 ・ 防 災 対 策

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実行状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
1	災害救助事業	災害救助費	0	- 令和4年9月1日に吉田町災害ボランティアセンターの設置・運営等に係る協定書を社会福祉法人吉田町社会福祉協議会と締結予定。 - 突発的な災害に備え、引き続き予算の計上をする。 - 避難行動要支援者個別計画を含め、災害時避難行動要支援者対策の推進を図る。 - 感染予防に対応した福祉避難所マニュアルの見直しを行う。	現状のまま継続	吉田町社会福祉協議会をはじめ福祉関係者との調整を進めるとともに、災害時に備え福祉避難所等の感染症予防にも対応できるように体制整備を図っていく。	福祉課
2	災害復旧事業	農林水産施設災害復旧費	0	災害の未然防止及び災害発生時の備えとして、点検等の施設管理を行う。	現状のまま継続	災害の未然防止及び災害発生時の備えとして、点検等の施設管理を行う。	建設課
		公共土木施設災害復旧費	0				
3	地震・防災対策事業	水防施設整備事業費	51,726	- 水防施設整備事業については、令和3年度事業完了。 - 国や県の交付金を積極的に活用し、避難所用備品等の整備を行う。 - 原子力災害広域避難計画の広域避難先となる県内(静岡市・富士宮市)及び県外市(群馬県前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、太田市)と協議を重ねる。 - 大規模地震発生を想定した総合防災訓練を県や近隣市町と共催で実施し、町防災計画や災害協定などの検証や、防災関係機関との連携強化、地域防災体制の確立及び町民の防災意識の高揚を図る。	現状のまま継続	- 防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波対策を推進する。 - 河川防災ステーション、水防センターを活用した水防対策を推進する。	防災課 企画課
		地震対策費	28,529				
		地震対策費(繰越明許)	2,343				
		国民保護対策費	0				
4	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	12,177	- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、吉田町地域防災指導員養成講座を自宅等でも受講ができるように、「静岡県ふじのくに防災士養成講座」を活用したウェブ受講方式にて開催する。 - 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、防災講演会は動画配信による聴講も可能とした。 - 中学生を対象としたジュニア防災士養成講座を中学1年生全員を対象として開催する方式に変更した。令和4年度においては、昨年度受講できなかった2年生も同時に受講できるよう計画している。 - 地域防災指導員と自主防災会が力を合わせ、地域防災力の向上のために防災訓練等に取り組むよう推進する。	現状のまま継続	- 防災公園(北オアシスパーク)を拠点とし来園者等を対象に既存防災設備の説明等を通じ防災意識の向上と知識の普及に努める。 - 引き続き、地域の防災リーダーとなる地域防災指導員の育成に努める。 - 吉田中学校と連携し、在学する全中学生がジュニア防災士になれるよう、中学1年生全員を対象としたジュニア防災士養成講座を開催する。 - 各講座、防災講演会については、新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で開催する。	防災課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
5	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	11,018	・対象家屋所有者に対して、ダイレクトメール1,000通を8月に発送し、制度の周知を図った。(令和3年度は200通) ・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金が、一体型補助金制度(社会資本整備総合交付金)となり、計画から工事実施までを一連で補助することで引き続きTOUKAI-0事業の推進を図る。 ・ブロック塀撤去費補助金について、町内の通学路及び避難路を町耐震改修促進計画に位置付けることにより、社会資本整備総合交付金を活用し引き続き事業の推進を図る。 ・コロナ禍における高い耐震性を確保した住宅に対しての補助金の拡充について、引き続き、周知を図る。	現状のまま継続	・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金一体型(制度について、戸別訪問やPR活動を行い制度の周知を図り耐震化を推進する。 ・ブロック塀の撤去事業については、制度周知を図り、撤去を推進する。 ・県は、令和3～7年度の5年間でTOKAI-0事業の集大成とする方針を掲げたことから、町としても、県とともに建築物の耐震化の推進を図り、更なる住民の安全で快適な住環境の整備を図る必要がある。	都市環境課
6	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	8,250	・令和3年度に実施した業務委託の成果をもとに、構造物等の基本設計や地質調査等を行う。また、財源としては、県支出金を活用する。	現状のまま継続	・令和4年度に実施する構造物等の設計に基づき、津波対策の工事を実施する。	産業課
7	防潮堤整備事業	防潮堤整備事業費 防潮堤整備事業費(繰越明許)	120,249 25,327	・引き続き、国及びシーガーデン整備と調整を図りながら、大井川河川防災ステーションへつながる防潮堤側道の整備と用地測量を実施する。	見直しの上で実施	・県営吉田公園南側エリアの利活用と調整を図った上で、川尻防潮堤周辺における必要な整備を実施する。	建設課
8	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費 情報伝達充実・強化事業費(繰越明許)	7,771 25,581	・有事に備え、各種防災行政通信機器等の保守・点検を行い、適正な維持管理に努める。 ・令和3年度から運用が開始された吉田町公式LINEの活用など、SNSを活用した防災情報伝達の多重化を推進していく。	現状のまま継続	・防災行政無線のデジタル化整備について、整備後の状況を把握し、計画的に維持・改善を図る。 ・災害時の円滑な対応を図るため、情報伝達機器の操作について職員に周知する。 ・災害時に、町民により正確な情報を伝達するための方法や、防災情報伝達の多重化について引き続き検討する。	防災課

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり 分野2 治山治水対策

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
9	治水対策推進事業	治水対策推進事業費 治水対策推進事業費(繰越明許)	948 10,284	・「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」により県への要望活動を実施する。 ・坂口谷川水災害対策プランが令和4年5月25日に策定されたため、本プランに位置付けられたハード整備の詳細設計を実施する。 ・湯日川流域の浸水対策に向け、総合的な治水対策を踏まえたハード・ソフト対策の計画検討の基礎調査を実施する。 ・町内の河川において浚渫を実施する。	現状のまま継続	・坂口谷川水門は令和5年度中の完成を予定しており、「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」において完成、供用に向けた準備を進めていく。 ・坂口谷川水災害対策プランに基づくハード整備を進めていく。 ・湯日川流域の浸水対策に向け、総合的な治水対策を踏まえたハード・ソフト対策の計画検討を実施する。 ・町内の河川において浚渫を実施する。	建設課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
10	水防事業	水防費	1,300	・水害等の災害に備え、水防資材の点検及び補充を実施する。	現状のまま継続	・水害等の災害に備え、水防資材の点検及び補充を実施する。	建設課
11	都市下水路事業	都市下水路費	—	・実施予定無し。	休止	・現時点において都市下水路の改修計画がないことから当該事業は休止とする。	建設課
12	大幡川等改修事業	大幡川改修事業費	12,782	・大幡川において、用地測量設計及び護岸改修の整備進捗を図っていく。	現状のまま継続	・引き続き、大幡川において、護岸改修を進める。	建設課
13	河川改修事業	河川改修事業費	—	・実施予定無し。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和5年度は休止とする。	建設課
14	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	11,970	・水門や排水機場などの農業用施設の適正な維持管理を行う。	現状のまま継続	・農業用施設の適正な維持管理を行うとともに、必要に応じて施設の修繕を実施する。	建設課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 3 交 通 安 全 対 策

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
15	交通安全推進事業	交通安全推進費	5,825	・毎月発行している「交通安全情報」に町内で発生した重大事故の情報や県内の交通情勢等記事を掲載し、交通安全意識の高揚を図る。 ・町内交通事故発生マップを作成し、交通安全対策委員会等において、自治会長をはじめ推進団体に提供し交通安全意識の高揚に努める。	現状のまま継続	・高齢者事故をはじめ、町内で発生している交通事故の事故類型、事故原因及び事故発生箇所を踏まえ、交通安全設備の設置、交通安全広報・教室等を実施し、交通事故の減少を図る。 ・交通安全広報の充実強化を図る。 ・引き続き、町内の交通事故発生マップを作成し、町民に周知して交通安全意識高揚を図る。	防災課
		交通指導員活動費	4,776				
16	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	4,936	・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づいた合同点検で点検した危険箇所について、着実かつ効果的に子供を守る交通安全対策を推進するため、区画線の復旧及び転落防止柵の設置などの整備を実施する。	現状のまま継続	・パトロールや地元からの要望等に基づき、交通安全施設の整備を行う。 ・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づく安全対策を実施する。	建設課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
17	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	9,591	- 毎月発行している「セーフティよしだ(コミュニティ資料)」に町内及び近隣市町の犯罪情報や社会的に問題となっている犯罪情報を掲載し、町民の防犯意識の高揚を図る。 - 防犯体制強化の一環として、青色防犯パトロールの必要性、重要性を防犯推進団体に理解していただき、青色防犯パトロール実施団体を増やす。 - 警察から寄せられた不審者情報を町内で共有し、青色防犯パトロール実施回数を増やし防犯環境の整備を図る。	現状のまま継続	「防犯教室」、「セーフティよしだ」等防犯情報の周知及び青色防犯パトロール等の事業を実施し、犯罪件数の一層の減少を図る。 - 引き続き、地域の実情を把握している各自治会へ防犯灯の整備業務を委託することにより、地域の防犯意識の向上を図るとともに、円滑かつ、効果的に維持管理できる体制づくりをする。 - 警察署、榛南防犯協会及び防犯推進団体と連携を図り、効率的、効果的に防犯対策事業を進める。	防災課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 4 く ら し 安 全

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
18	消費生活啓発事業	消費生活費	44	広報、回覧文書及びホームページによる啓発を行うとともに、専門相談員による消費者相談の実施により、被害の未然防止や早期解決を図っている。	現状のまま継続	- 専門相談員設置を継続し、町民からの複雑多様化する相談ニーズに対応する。 - 関係団体と連携し、公共施設や町内イベント、団体の会合等で啓発する。	産業課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 5 消 防 ・ 救 急

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
19	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	13,816	広域施設組合及び関係市と連携し、吉田消防署の維持管理に関する事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、吉田消防署の維持管理に関する事業を展開していくため、負担金を支出する。	防災課
20	消防救急広域事業	消防救急広域事業費	268,399	- 広域化による実績(効果)を積み重ねる事により更なる広域化による効果を高める。 - 県の地震・津波対策等減災交付金、地方債(緊急防災減災事業債)を活用し連絡車を更新する。	現状のまま継続	- 広域化によるスケールメリットを持続的に最大限に生かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す。 - 令和8年度の消防総合情報システム全更新に向け、令和5年度に「基本設計」及び「実施設計」を実施する。	防災課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
21	消防団運営事業	消防団運営費	15,303	・団員の確保対策として、消防団員の必要性及び事業税の優遇措置の周知を団員所属の事業所に周知し、深く理解していただくことにより、退団者の減少を図るとともに、商工会を通して、広く事業所に周知し、新たな団員確保につなげる。 ・女性の視点を活かした活動を展開し、女性消防団員が活躍できる場を紹介する。 ・消防救急広域化により常備消防との連携を強化し、地域全体における消防力の向上を図る。	現状のまま継続	・消防団、まとい会、町内会及び行政が協力し新入団員確保に当たるとともに、消防団協力事業所表示制度を推進し、消防団員がより活動しやすい環境を整え、退団者を減少させることにより、消防団員の増員を図る。 ・引き続き、消防団の充実・強化を図ることにより、地域に密着した要員動員力と即時対応力の向上を図る。 ・各種災害に対応できるよう訓練及び講習会を通じ、消防団員の技術及び知識の習得を図る。 ・女性消防団員の視点を活かしたきめ細やかな運営を支援し、女性消防団員の活躍の場を広げるとともに、女性消防団員の新規入団者を確保する。	防災課
22	消防団員福利厚生事業	消防団員福利厚生費	5,491	・令和3年度と同様、退職報償金の支給、消防団員の福祉共済への加入、活動中の怪我に対する公務災害補償により、消防団員の福利厚生の充実を図る。	現状のまま継続	・引き続き、退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生の充実を図る。	防災課
23	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	3,414	・破損した消防用資機材を修繕し適切に使用できるようにする。	現状のまま継続	・計画的に装備品を整備する。	防災課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り

分 野 1 健 康 づ く り

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
24	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	5,639	・Web (zoom等) を介して実施された研修に参加し、出席者が得た知識を課内で共有することで、職員の資質向上が図られている。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況をみて、リアル実施された研修会にも可能な限り参加している。	現状のまま継続	・引き続き、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザその他感染症予防に十分に配慮した施設運営を適切に実施し、業務継続を図る。	健康づくり課
25	健康づくり事業	健康づくり事業費	664	・令和3年3月に策定した「健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)」に基づき、計画目標達成に向け健康づくり事業の促進を図っている。 ・ダンス健康づくり事業及び健康体操事業については、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現といった観点から、生涯学習課に移管した。	現状のまま継続	・令和3年3月に策定した「健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)」に掲げた方向性(目指す姿)や数値目標を達成できるよう事業を実施していく。 ・事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関する最新で正確な情報をいち早く入手するよう心掛け、それらの情報を事業計画に取り入れて進める。	健康づくり課
26	健康増進事業	健康増進事業費	29,377	・国の補助金を利用し、がん検診推進事業(がん検診自己負担金が無料となるクーポン券の交付)を乳がん検診40歳、子宮頸がん検診20歳の方に実施している。 ・肝炎ウイルス検診の受診率向上のため、引き続き40歳から75歳までの5歳刻みの年齢に達する者で過去に検診を受けたことがない者に対し、自己負担を無料化している。 ・生活習慣病予防事業では、特定健診の結果、受診勧奨・保健指導判定値者に対し受診勧奨、保健指導を実施し、精検未受診者の受診勧奨を実施している。	現状のまま継続	・検診や精密検査受診率向上を図るため、効果的な個別勧奨の内容や方法について随時見直しを行う。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、各検(健)診、教室、相談、訪問事業を実施していく。 ・生活習慣病予防のため、適切な保健指導を実施できるようアプローチ方法等検討し実施する。	健康づくり課
27	感染症予防事業	感染症予防費	88,926	・引き続き、接種対象者に対し、予防接種や予防接種費の助成に関する情報を新生児訪問等の母子保健事業内や町広報誌、アプリ(よしにこダイアリー)等で周知することで、対象者が必要な予防接種を確実に接種できるよう対応している。 ・令和4年度からHPVワクチンにおけるキャッチアップ接種を開始している。 ・引き続き、予防接種法関係省令等に基づき、新型コロナワクチン接種を安全かつ迅速に実施している。 ・感染拡大防止検査費用助成事業については、令和4年度においても令和3年度の内容を踏襲し実施している。	現状のまま継続	・接種対象者に対し、必要な予防接種の状況を正確かつ迅速に周知し、必要な時期に確実に接種を受けることができるよう、引き続き対応する。 ・新生児訪問等の母子保健事業における対象者(又は対象者の保護者)と接触機会を活用し、未接種者や対象者に対し接種勧奨を実施し、引き続き接種率の向上を図る。 ・感染拡大防止検査費用助成事業については、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、必要に応じて実施を検討する。	健康づくり課 福祉課
		感染拡大防止検査費用助成事業費	633				
		新型コロナウイルスワクチン接種事業費	200,341				

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
28	母子保健事業	母子保健衛生費	50,963	・妊婦等に対して健康診査に係る費用を助成し経済的負担の軽減を図っている。 ・年度をまたいで不妊治療を実施する保険適用対象とならない者に対して、特定不妊治療、一般不妊治療費を助成することにより、子供を望む夫婦の経済的負担の軽減を図っている。	現状のまま継続	・不妊治療が保険適用となり移行期間が終了したことから、不妊治療費助成事業については終了とする。 ・各種健診、相談、教室等の受診率向上や事後フォローが必要な親子に対して必要な支援方法等を随時見直しながら実施する。	健康づくり課
		妊娠・出産包括支援事業費	1,710				
29	食育推進事業	食育推進事業費	160	・健康づくり友の会会員がより効果的で自主的な活動ができるよう、活動目的に合わせた献立や媒体などの情報提供を積極的に行っている。 ・幅広い世代の町民に対して食に関する情報提供ができるよう、吉田町ホームページ、吉田町公式ライン、ラジオの媒体や健康づくり課事業などを活用して情報を発信している。	現状のまま継続	・町の栄養課題の解決のため、食育推進計画に基づいた食育事業を推進する。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野2 地域医療

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
30	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費	1,478	・吉田町診療所開設補助金制度について、制度自体をわかりやすく、また、当町の魅力をアピールするため新たなパンフレットの作成に着手した。	現状のまま継続	・現在及び未来の地域医療体制の課題と解決策について、関係機関との協議等を継続して実施し、課題解決に向けては行政、関係機関、住民の3者が連携を図った上で、それぞれの役割分担を検討する。 ・吉田町診療所等開設補助金制度の更なる周知を図る。	健康づくり課
		地域医療対策事業費(繰越明許)	39,885				
31	榛原総合病院組合事業(負担金)	榛原病院負担金	400,079	・榛原総合病院組合規約第14条の規定により令和3年度に実施した事務の共同処理に係る経費の負担割合の見直しに基づいて事業を実施している。 ・見直し後の3か年の負担割合は、最終年度となる令和6年度に再設定するものとし、令和4年度と令和5年度の負担割合は、令和3年度の負担割合から段階的に増えるようにして榛原総合病院組合負担金を支払う。	現状のまま継続	・負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の中核となる公設の病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状維持が必要である。 ・令和3年度に見直しした負担金割合に基づき、榛原総合病院の運営に係る経費を支払う。	健康づくり課
32	救急医療体制整備事業	救急医療対策事業費	8,679	・救急医療体制の周知や医療機関への正しいかかり方についての啓発を継続する。	現状のまま継続	・志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。	健康づくり課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
33	災害時医療救護対策事業	災害時医療救護対策事業費	111	・災害時薬事コーディネーターと連携を図りながら災害時の医薬品供給について体制を検討し、整備していく。 ・総合防災訓練において医療救護訓練を実施する。	現状のまま継続	・救護所に必要な物品を見直し、引き続き整備を進める。 ・医療救護計画や災害時健康支援マニュアル等の内容の検討、整備を引き続き実施する。 ・関係機関の協力を得て、医療救護訓練を実施する。	健康づくり課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野3 地域福祉

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
34	地域福祉推進事業(福祉総務事業)	福祉総務費 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金給付事業費	281 134,906	・複合的課題を抱える世帯の個別支援の充実を図るため、ワンストップ相談窓口をはじめ既存のケア会議等を活用し、多機関連携及び地域力強化に努める。 ・コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」において、令和4年度分の住民税均等割が非課税の世帯に対しプッシュ型の臨時特別給付金を給付する。	現状のまま継続	・地域共生社会の実現を目指し、行政のみならず多様な事業体と協働し、生活保護世帯や生活困窮世帯を生み出さない支援体制を構築する。	福祉課
35	地域福祉推進事業(戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	537	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、令和4年10月7日に開催予定。	現状のまま継続	・参加者に配慮し、「追悼に関する部分」と「平和祈念に関する部分」など式典のあり方を検討しながら、毎年継続して実施する。	福祉課
36	地域福祉推進事業(地域福祉計画の策定)	地域福祉計画策定事業費	686	・吉田町地域福祉推進委員会を3回開催し、国の動向、県の関連計画、関係法令及び本町関連計画との整合性に留意するとともに、吉田町社会福祉協議会と協働して「第4期吉田町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定する。	現状のまま継続	・吉田町地域福祉推進委員会を開催し、定期的に地域福祉施策に係る進捗状況を点検し、当町の地域課題に即した福祉施策を検討する。	福祉課
37	地域福祉推進事業(成年後見制度中核機関運営事業)	成年後見制度中核機関運営事業費	—	・成年後見制度の利用促進に向けて、社会福祉協議会が町の中核機関として事業を運営する体制を構築するため、継続的に協議を実施する。	見直しの上で実施	・成年後見制度の利用促進を担う中核機関の運営業務を社会福祉協議会へ委託し、同制度の利用の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	福祉課
38	地域福祉推進事業(社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	36,749	・コロナ禍生活困窮に係る相談者への支援を引き続き町と社協とで連携して行っていく。	現状のまま継続	・社会福祉協議会が地域福祉の推進を図るための中核的役割を担い、町や関係機関と連携しながら地域福祉力の強化に努めるため引き続き補助金交付を行っていく。	福祉課
39	地域福祉推進事業(民生委員・児童委員活動)	民生・児童委員活動費	6,471	・新型コロナウイルス感染症の影響により例年実施していた県外視察研修等は自粛するが、DVD研修をはじめ地区別研修や部会別研修の内容を工夫し、地域住民からの相談に対応できるような体制を図る。 ・吉田町民生委員実態把握調査の準備が順調に進み、8月1日から調査を開始する予定。	現状のまま継続	・令和4年12月1日の民生委員一斉改選により、半数以上の民生委員が新任委員となる見込みのため、地域住民が相談しやすい体制を確保するため基礎的な知識を得るための民生委員研修を実施する。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和5年度の方針		
40	国民年金事務事業	国民年金事務費	1,350	・法定受託事務・協力事務を、適切かつ確実に処理している。 ・障害年金をはじめとした年金相談については、普段から分かり易い説明を心掛けている。昨年度以上に年金制度に関する知識を深めつつ、年金事務所との連携を図っていく中で、適切な案内ができるよう努めている。	現状のまま継続	・法定受託事務・協力事務を、適切かつ確実に処理する。 ・制度変更があった点については、被保険者に対し、周知及び理解に努める。 ・収納率向上のため、年金事務所と更なる連携を行い、口座振替やクレジットカード納付を促進させる。	町民課
41	国民健康保険事業会計繰出金	国民健康保険事業会計繰出金	129,947	・国民健康保険事業を適正かつ円滑に行うため、基準内の繰出しを実施する。	現状のまま継続	・国民健康保険事務費に係る一般会計繰出しに要する費用については、国の動向を注視していく。	町民課
42	国民健康保険事業(特別会計)	総務費	12,279	・特定健診の受診率向上については、AIを使った情報分析により受診勧奨方法の工夫を行い、未受診者対策の強化を図りながら受診率を向上させる。 ・マイナンバー連携による情報連携や年金ネットを積極的に活用することにより国保資格を管理し、国保税収納率の向上につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨等を重点的に行う。特に、ジェネリック医薬品の推奨については、国の目標値(80%以上)を昨年度達成したが、常に達成するよう目指す。	現状のまま継続	・医療費抑制に向け、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 ・生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、医療費の抑制につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨(目標使用率：80%以上)等を引き続き行う。 ・インセンティブによる交付金事業(保険者努力支援事業)に対応するため、収納率の向上及び保健事業の強化を図る。 ・マイナンバーによる情報連携を推進し、更なる事務の効率化及び住民の利便性を図る。(マイナンバーカードによる保険者証利用や特定健診情報の共有等)	町民課
		保険給付費	1,872,426				
		国民健康保険事業費納付金	791,099				
		共同事業拠出金	0				
		財政安定化基金拠出金	0				
		保健事業費	22,136				
		基金積立金	35,145				
		諸支出金	36,386				
		予備費	0				
43	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業事務費	296,518	・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、引き続き適正に事業を実施する。 ・県単位の後期高齢者医療広域連合が事業主体となっている制度であるが、町が担当する業務については、適正かつ効率的に事務処理を行う。 ・保険料未納者に納付勧奨及び自宅訪問を行い、収納率向上を図る必要がある。 ・10月から、医療費窓口負担割合が2割となる方もいることから、制度の周知に一層努める。	現状のまま継続	・保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。 ・後期高齢者における健康診査受診率の向上に、引き続き努める。	町民課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況	令和5年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
44	後期高齢者医療事業(特別会計)	後期高齢者医療広域連合納付金	291,556	・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、適正に事業を実施する。	現状のまま継続	・後期高齢者医療制度は現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。 ・収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。	町民課
		諸支出金	611				
		予備費	0				
45	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計繰出金	302,538	・介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行い、第8期介護保険事業計画に沿って、事業を実施する。 ・低所得者保険料軽減制度に基づく負担割合における繰り出しを行う。	現状のまま継続	・第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行う。	福祉課
46	介護保険事業(特別会計)	総務費	38,650	・被保険者の資格管理及び保険給付の適正かつ効率的な運用を図る。 ・高齢者等がフレイル状態にならないよう、新型コロナウイルス感染症のまん延状況をみながら、各事業を実施している。 ・介護保険料の納付促進を図るため、口座振替の推進や催告書送付等を実施する。	現状のまま継続	・第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、事業を実施する。	福祉課
		保険給付費	1,742,057				
		基金積立金	66,722				
		地域支援事業費	110,366				
		保健福祉事業費	1,944				
		諸支出金	77,127				
		予備費	0				
47	低所得者利用者負担額軽減措置事業	低所得者利用者負担額軽減措置事業費	99	・社会福祉法人等による利用者負担軽減制度に基づき、事業を実施する。 ・令和3年度の対象者は9人(施設入所者6人、在宅者3人)	現状のまま継続	・介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。	福祉課
48	生活保護事業(生活保護費)	生活保護費	0	・行旅人及びホームレス等への旅費、終末期支援等を引き続き行う。	現状のまま継続	・本事業は生活困窮者に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も存続させる必要がある。 ・生活保護制度の利用に至らぬように、生活保護実施機関である静岡県並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し、生活困窮者におけるセーフティネットの強化を図る必要がある。	福祉課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り

分 野 5 子 育 て 支 援

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
49	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業費	615	・保健センターや児童館と相互に連携し、利用者に支援センターの周知を図る。 ・安全面を考慮し、土日でも二人体制で開所できるように子育て支援員を確保している。 ・父親も楽しく育児参加できるよう、土日を利用した新たな講師による事業を開始することで、利用者の増加に努めている。 ・コロナ禍で大きなイベントができないながらも、感染症対策をしっかりとし、夏祭りなど少しづつ大勢でも楽しめるイベントを工夫しながら企画していくようにしている。支援センター自体が居心地の良い場所となるように人的・物的環境を整えていく。	現状のまま継続	・今後も利用者の年齢やニーズを的確に捉え、各種事業を充実させる。 ・各種事業を充実させるとともに、事業の広報にも力を入れる。 ・事業数や実施場所の工夫をし、子育て支援センター利用者数の増加に努める。	こども未来課
50	吉田町次世代育成支援(児童手当事業)	児童手当費	468,588	・定期的な事務処理を行い、児童手当受給者へ児童手当支給事務を実施していく。 ・児童手当の定期払時、「広報よしだ」に加えてホームページ、LINEに掲載し、周知を図っていく。 ・児童手当現況届提出の際、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き郵送での提出受付を開始した。 ・児童手当の制度改正に伴い、受給者への通知を発送することに加え、ホームページやLINEに掲載した。	現状のまま継続	・児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
51	こども医療費助成事業	こども医療費助成事業費	126,050	・助成対象年齢を満18歳に達する最初の3月31日までとし、県補助金対象外である自己負担金についても単独で補助を行い、適切な事務処理を行うことで医療費助成を行っている。	現状のまま継続	・静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
52	児童福祉事業	児童福祉費	14,963	・ファミリー・サポート・センターの周知等を行った結果、会員数が増加しているため、引き続き会員の増員(令和4年4月1日現在で、サポート会員25人、リクエスト会員106人、両方会員4人の合計135人)に努める。	現状のまま継続	・新たな子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて準備を行う。 ・ファミリー・サポート・センターの周知により、引き続き会員数や利用実績の増加を図る。	こども未来課
		ファミリー・サポート事業費	281				
		子育て世帯生活支援特別給付金事務費	42				
		子育て世帯生活支援特別給付金事業費	9,191				
		子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費	454,066				

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
53	保育園管理運営事業	保育園管理費	137,477	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を実施しつつ、保育業務を行っている。 ・待機児童を出さないために、保育士確保に努め、保育業務の安定を図っている。また、低年齢児の保育ニーズの確保策として、民間の小規模保育施設について、1園は10月1日開所、2園は令和5年4月1日開所を目指し、計3園の開所準備を行っている。 ・育休復帰時の保護者の軽減として、ならし保育の制度を見直し、復帰月の前月から児童を預かることができる制度構築を検討している。 ・分かりやすい保育関係事務の実施のため、引き続き、各種資料を見直し、マニュアルの整備等を行う。 ・幼児教育・保育の無償化に関する給付費をこども未来課保育園管理費に集約した。 ・わかば保育園の用地買収を目指し、地権者と用地交渉を行っている。	見直しの上で実施	・令和5年度から小規模保育事業所2園が開所予定のため、公立保育園における主に低年齢児の定員設定の見直しを行う。 ・引き続き、保育士・給食員等の確保を行う必要があることから、積極的なPRを行う。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、保育業務を行う。 ・無償化事務だけでなく、保育所入所等に関する事務及び幼児教育・保育の無償化に関する事務全般について、標準システムへの対応等、保護者の利便性向上のため見直しを行う。 ・保護者の利便性の向上及び保育士の業務改善のため、保育園への保育システム導入を検討する。 ・利用者負担額(保育料)等の未納対策を行う。	こども未来課
		さくら保育園運営費	18,487				
		すみれ保育園運営費	25,955				
		さゆり保育園運営費	19,277				
		わかば保育園運営費	22,212				
54	児童館運営事業	児童館運営費	3,205	・児童館から離れた場所に住む児童も利用できるよう「移動児童館」を引き続き計画し、4月より、北オアシスパーク、住吉会館又は山八公会堂で毎月1回ずつ(8月を除く)実施している。 ・令和2、3年度に実施を見合わせていたキッズクッキングを再開し、年間6回実施する。 ・参加したくなるような講座等を企画し、じどうかんだより、ホームページ、ポスター等により各種事業やイベントの周知を行っている。 ・新型コロナウイルス感染拡大のため、イベントや事業内容などを職員同士でアイデアを出し合い、感染症対策に努めながら、利用者が楽しめる児童館運営に努めている。	見直しの上で実施	・児童館運営委員会を開催し、児童館のより良い運営のため、意見を収集し協議をする。 ・利用者のニーズを的確に把握するため、アンケート等を実施し、イベントや事業内容、回数等を検討しながら実施する。	こども未来課
55	児童厚生施設整備事業	児童厚生施設整備費	1,066	・遊具の定期点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。 ・樹木の伐採、草刈り等については、快適な環境整備のため、各町内会等と協力して実施している。 ・令和3年度と同様に草刈りと枝払いを都市環境課に作業依頼をし、実施予定である。日程等により、実施できない箇所についてはこども未来課の職員で実施していく。	現状のまま継続	・児童遊園地の維持管理を行い、地域の子ども達に安全で快適な遊びの場を提供する。 ・既設の遊具は、定期点検の結果を基に、必要に応じて修繕を実施する。	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方⽅性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
56	児童発達支援事業	こども発達支援事業費	5,686	・子育て支援及び保護者支援のため、引き続き、事業(定期通園・並行通園・親子通園・相談支援(園訪問))を継続していく。 ・隣接するすみれ保育園と交流計画を立て、互いの施設を行き来する予定である。 ・福祉課が「一般社団法人たけのこ」と契約し、相談支援事業所をこども発達支援事業所内に置き、相談支援事業の充実を図っている。 ・園内研修等を見直し、相談支援専門員による研修を実施する。	現状のまま継続	・保護者が安心して子育てができ、児童一人ひとりが健やかに育つためには、引き続き、事業を継続する必要がある。 ・関係機関からの情報提供を基に、共通理解をしながら、並行通園、親子通園に繋げていく必要がある。 ・きめ細やかな療育を実現していくため、関係機関との連携を図り、職員の質の向上を図るよう努める。また、働きやすい環境づくりも構築していく。 ・相談支援事業の充実を図るため、関係機関と協議を継続していく。	こども未来課
57	子ども会育成連合会助成事業	子ども会育成連合会助成事業費	298	・児童館夏のおまつり広場や、児童館まつりへの出展により、地域全体への活動を実施を予定。	現状のまま継続	・次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成を支援するために適切な補助金を支給する。	こども未来課
58	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費	17,696	・平成31年4月から放課後児童クラブを増設し、利用児童が増加したことに加え、様々な特性を持つ児童への対応が必要となっていることから支援員の確保、支援員の資質向上のために研修会等へ積極的な参加をし、より安全な放課後児童クラブの運営に努めている。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施し、施設の換気を行い、児童とともに支援員についてもマスクの着用や消毒液等を使用し、感染防止対策に努めている。	現状のまま継続	・放課後児童クラブの運営を円滑に行う。 ・利用者が待機することなく、安全に利用させる。 ・支援員の確保及び資質の向上を図る。 ・新型コロナウイルス感染症に関する保護者ニーズ等を的確に把握し、必要な施策を検討する。	こども未来課
		放課後児童クラブ建設事業費	—				
59	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	645	・虐待をはじめとする課題を抱える子どもと家庭の相談体制を整え、問題の発生予防、早期発見、早期対応、重症化や再発防止が図れ、子どもたちが健やかにいきいきと育つことができるよう関係機関とも連携した相談窓口である子ども家庭総合支援拠点の強化に努める。	現状のまま継続	・令和6年4月1日から施行する児童福祉法等の一部改正に向けて、児童相談の体制強化を検討する。	こども未来課
60	ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭対策事業費	3,482	・ひとり親家庭就学支援事業について対象者へ個別通知により確実に周知する。 ・ひとり親の放課後児童クラブ利用者のため、児童扶養手当受給者への利用料の減免を継続して行っている。	現状のまま継続	・ひとり親家庭の日常生活全及び経済的安定を図るため、相談事業と協働し自立に向けた支援を行う。 ・児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理が行われるよう努める。 ・制度の変更に随時対応し、県と調整しながら事務処理を適正に行うよう努める。	こども未来課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り

分 野 6 高 齢 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
61	高齢者福祉推進事業	高齢者見守り体制整備事業費	0	- 在宅福祉サービスについて、対象者や関係機関に対する周知啓発のため、ホームページ等を活用する。 - 令和5年度の次期計画策定に向けて、「高齢者の生活と意識に関する調査」を実施する。	見直しの上で実施	- 第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定する。 - 高齢者見守りネットワーク事業については、見守りの対象を、生活困窮者や障害者等まで拡充し実施する。	福祉課
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	46				
		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	—				
62	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	9,401	- 高齢化がますます進展していくと見込まれる中、シルバー人材センターが果たす役割は日増しに大きくなってきている。これまで高齢者が培ってきた経験を社会に還元するとともに、高齢者の就業機会の提供を推進するため、必要な経費を補助していく。 - さわやかクラブが実施している高齢者の生きがいと健康増進、地域社会のための事業等に対して補助金の交付を継続する。	現状のまま継続	- これまで高齢者が培ってきた経験を社会に還元するとともに、高齢者の就業機会の提供を推進するため、シルバー人材センターへの補助金交付による支援を継続する。 - 高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。	福祉課
63	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	1,040	敬老事業については、記念品贈呈対象者を昨年同様80歳、85歳、90歳以上とし、実施予定。	見直しの上で実施	高齢化が進む中、高齢者とその家族が安心して生活できるように、R4実施の高齢者の生活と意識に関する調査の結果を基に、各種福祉サービスの継続、廃止、新設等について検討する。	福祉課
		老人福祉対策費	904				
		敬老事業費	1,866				
		老人保護措置費	6,887				
64	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	45,229	- 北区いきいきセンターについては、指定管理者を一新し、業務を行っている。 - 健康福祉センターについては、築23年が経過し、設備関係の不具合が出始めていることから、今後の修繕の見直しについて確認をする予定。	現状のまま継続	施設の管理運営について、指定管理者制度を継続し実施する。	福祉課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り

分 野 7 障 害 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
65	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	3,727	令和4年7月25日にあつまりーナ運営委員会を開催予定。現状の課題整理や今年度の事業計画等について議論し、需要の把握に努める。	現状のまま継続	現状の委託契約及び福祉サービスについて精査し、障害福祉施策が向上するよう取組の強化に努める。	福祉課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
66	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	577,806	・吉田町障害者(児)福祉推進委員会を開催し、地域課題の抽出をはじめ地域支援者との連携体制の構築を図る。 ・第6期吉田町障害福祉計画第2期吉田町障害児福祉計画(令和3年度～令和5年度)に基づき、地域生活支援拠点等を整備するため、近隣市町や福祉関係事業所とともに相談強化加算等について検討する。	現状のまま継続	・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、引き続き事業を実施する。 ・第7期吉田町障害福祉計画第3期吉田町障害児福祉計画(令和6年度～令和8年度)を策定する。	福祉課
		地域生活支援事業費	26,722				
67	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	20,972	・障害者施設の運営支援を図り、障害児のライフワークを計画的・継続的に支援していく。 ・駿園学園については、志太榛原地域で唯一の障害児施設としての機能整理を図るため、令和3年3月に作成した「駿園学園のあり方についての調査報告書」に基づき構成市町で検討する。	現状のまま継続	・施設長寿命化のための改修工事を段階的に実施することにより、障害児が安全で快適に利用できるよう支援を行う。	福祉課
68	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	1,411	・障害に対する適切な医療と福祉サービスを継続して受けることができるように、情報の周知とサポートを提供する。 ・重度障害者医療費助成の事務の業務改善の為、来年度以降でのシステム導入を検討している。	現状のまま継続	・障害のある人が身近な地域において、保健・医療サービス等を受けることができる提供体制の充実を図り、自立生活に向けた支援体制を構築する。	福祉課
		心身障害者更生援護費	46,463				

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 農 業

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況		令和5年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
69	農業総務事業	農業総務費	1,078	・積極的にWEB研修等に参加し、情報共有や情報交換を行い地域農政の一助につなげている。	現状のまま継続	・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を継続する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度に加入する農家の掛金の一部を町が負担することにより、農家の負担軽減を図るとともに継続して制度運営の円滑化に取り組む。	産業課
70	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	3,337	・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査において、農地を斡旋し、農地流動化(利用集積)の促進を図る。 ・研修会等へ参加し知識の習得や情報交換により、農地に関する諸問題を解決する。	現状のまま継続	・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員による農地流動化(利用集積)を促進する。 ・農地法等の厳正な事務執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組み、農業全般にわたる諸問題を解決するように努める。 ・若手農業者、認定農業者を中心に農業者年金加入推進活動を行い、農業者年金の普及活動を行う。	産業課
		農業者年金事務費	180	・経費削減を図り、より効率的な運営に努める。 ・農業者年金への新規加入を促進するため、個別訪問等を積極的に行う。			
71	農業振興事業	農業振興費	1,663	・農業等の多面的機能を発揮させるため、引き続き片岡西中生会農業支援部が行う農用地及び水利施設の維持管理活動を支援している。 ・コロナ禍で中止していた活動を実施できるよう各団体等へ支援している。	現状のまま継続	・引き続き農業団体等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与する。	産業課
72	農業経営所得安定対策推進事業	農業経営所得安定対策推進事業費	79	以下の方法により、町内農家へ制度の周知を図った。 ・町HPへ制度の紹介について掲載 ・ハイナン農業協同組合を通じて、町内レタス委員会へ情報提供 ・町内認定農業者及び昨年度申請者へ資料送付	見直しの上で実施	・農業経営所得安定対策等交付金申請において、農林水産省のオンライン申請サービスを対象農業者に周知し、利便性の向上、事務の効率化を図る。	産業課
73	畜産事業	畜産業費	1,018	・引き続き、中部家畜保健衛生所と連携して生後40～60日の豚への豚熱予防接種を隔週で実施する。	現状のまま継続	・蔓延防止を図るため、予防接種や畜産農家への指導等を行う。	産業課
74	担い手育成総合対策事業	担い手育成総合対策事業費	1,966	・実質化した人・農地プランを基に農地の集積、集約化を推し進める。 ・認定新規就農者へ資金支援を行うことにより、就農後の農業経営への支援を行っている。	現状のまま継続	・認定農業者等への集積・集約化を支援する。 ・安定した農業経営を維持するため、引き続き認定新規就農者を支援する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
75	土地改良事業	土地改良事業費	34,395	・本町の基幹水利施設である大井川用水が安定的に供給されるよう、大井川土地改良区や近隣市町と情報を共有しながら維持管理に努めている。	現状のまま継続 ・引き続き、土地改良区への賦課金助成金や国営大井川農業水利事業(第1期、H11～H21、同事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金を支払う。 ・農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給や施設機能の適正な管理を図る。	産業課
76	用水路補修・維持事業	用水路改良維持修繕費	4,041	・山崎頭首工の復旧に向けて、関係機関との協議及び測量設計を行う。 ・山崎頭首工の代替措置として神戸川にポンプを設置し、農業用水を確保した。 ・用水路の浚渫を実施する。 ・せぎ板等の用水資材の提供を行う。	現状のまま継続 ・山崎頭首工の復旧に向けて、関係機関との協議及び補修工事を実施する。 ・引き続き用水路の維持管理を行う。 ・引き続き神戸川にポンプを設置して農業用水を確保する。	建設課
77	用水路改修事業	用水路改修事業費	—	・実施予定無し。	休止 ・事業実施時期を検討する必要があるため、令和5年度は休止とする。	建設課
78	荒廃農地再生事業	荒廃農地再生事業費	33	・農地パトロールの実施をはじめ、利用意向調査に基づく荒廃農地の解消指導や補助金活用等により、荒廃農地の解消に取り組む。	現状のまま継続 ・荒廃農地の解消及び発生防止のため、引き続き担い手へのあっせんや補助制度の広報及び活用に取り組む。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 水 産 業

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
79	水産振興事業	水産振興費	198,062	・新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら山梨・長野方面へのプロモーションも含めてイベント出展を目指していく。また、好評であったキーワードラリーを実施するほか、ホームページの随時更新などによりPR活動を行う。	現状のまま継続 ・4市1町(静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、吉田町)の連携を更に強化し、それぞれの持つ長所を活用しながら駿河湾水産振興協議会事業を実施することで、当町の水産物を県内外にPRし、効果的に水産振興を図る。	産業課
80	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	456	・榛南地域栽培漁業推進協議会に対しては、支援の継続により、漁場環境の向上や資源の確保等を図っている。 ・水産多面的機能発揮対策事業については、藻場の維持、管理を円滑に行うため、協定書に基づき事業を実施していく。	現状のまま継続 ・負担金による事業実施により、漁場環境の維持・改善や小学生等低年齢層への啓発が図られおり、今後も継続的に事業を進め更なる水産資源を確保する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
81	漁港管理事業	漁港管理費	15,620	・漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携を図りながら、吉田漁港の適正な維持管理を実施している。	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の適正な維持管理に努める。	産業課
82	水産基盤整備事業	水産物供給基盤機能保全事業費	63,827	・令和3年度に引き続き、県支出金を活用しながら漁港環境整備事業を実施し、町民の安全安心を確保するため早期完成に努める。 ・機能保全計画に基づき、港内の浚渫工事を実施していく。	現状のまま継続	・引き続き、漁港施設整備に係る各事業の事業計画に沿って計画的に事業を実施する。特に、多目的広場の整備を重点的に実施し早期完成に努めるとともに、漁港環境の向上を図るため、機能保全事業において、港内の浚渫工事を継続実施する。	産業課
		漁港環境整備事業費	52,415				
		漁港施設機能強化事業費	—				
83	小規模局部改良事業	小規模局部改良事業費	—	・緊急を要する安全施設の整備については、平成28年度事業で完了しているため、漁港内の点検を通して状況把握に努めるとともに、南駿河湾漁業協同組合吉田支所との協議により、必要な漁港施設の整備の検討を行う。	休止	・現時点では緊急を要する施設整備はないため、前年同様休止とする。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 3 商 工 業

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
84	商工業振興事業	商工業振興費	56,311	・商工業振興事業費補助金交付要綱に基づき、商工会に補助金を交付することにより、商工業の活性化を図っている。	現状のまま継続	・小規模事業者の経営安定と振興を図るため、補助金要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。	産業課
		商工業振興費(繰越明許)	54,372				
85	中小企業振興事業	中小企業振興費	5,109	・設備投資等の資金調達の円滑化を図るため、要綱に基づき利子助成等を行っている。	現状のまま継続	・引き続き、各制度要綱に基づき適正に事業を行い、中小企業の経営基盤の安定及び健全な発展を支援する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 4 観 光

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
86	観光振興事業	観光振興費	19,021	・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、吉田町の三大まつりを全て中止したため、今年度は感染状況を見据えながら観光協会と連携して、できる範囲でイベントを開催する。	見直しの上で実施	・老朽化している観光施設のユニバーサルデザイン化を検討し利便性の向上に繋げる。また、既存イベントについて観光協会とも協議しイベント内容の見直しを行う。	産業課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
87	観光PR事業	観光PR事業費	1,229	・令和3年度から実施している地域おこし協力隊による吉田町の情報を発信するWEBコンテンツの内容を充実させ、安定した運営が行える体制を整える。 ・新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、誘客に向けて県外や町外で吉田町をPRする機会を設ける。	見直しの上で実施	・WEB媒体等を活用して、旅行ニーズや旅のスタイルに合わせた観光PRの方法を検討する。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野5 新産業

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
88	産業支援事業	産業支援事業費	3,366	・産業振興事業費補助金や吉田町創業支援ネットワークを周知することによって、創業者の支援を図っている。 ・創業応援セミナーをよしサボ事業を展開する吉田町まちづくり公社への委託により実施する。	現状のまま継続	・吉田町創業支援ネットワークを周知するとともに、関係機関と協力し、創業支援事業に取り組む。 ・創業支援センターの利活用を推進し、創業を目指す方々を多面的に支援する。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野6 企業誘致

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
89	企業立地振興事業	企業立地振興費	220	・用地情報の提供による引合案件の増加につなげるため、前年度に引き続き遊休地情報の収集及び整理に取り組む。 ・企業立地促進事業費補助金制度は、当町へ企業が立地を決める際の目安となっているため、交付要綱に基づき迅速に処理を進める。	現状のまま継続	・町内への企業立地を促進させるため、効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業立地支援体制の強化を図るなどの積極的な企業誘致活動を実施する。 ・補助金制度は企業側にとって大きな支援となっており、当町への企業立地を決定する大きなメリットとなっている。	産業課

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり 分野7 雇用・就業対策

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
90	労働福祉事業	労働福祉費	2,552	・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実施を図り、安定した労働力を確保するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。	現状のまま継続	・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実施を図り、安定した労働力を確保するため、補助金要綱に基づき、榛南地域労働者福祉協議会及び榛南地区勤労者共済会への補助金支出を継続する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況	令和5年度 of 方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
91	雇用対策事業	雇用対策費	400	・有能な技能労働者を養成し建築技術者を育成するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。 ・求人情報冊子の配布終了に伴い、公職職業安定所によるインターネットサービスの利用案内を行っている。 ・合同企業説明会の開催時期等を連携機関と検討し開催する。	現状のまま継続	・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所と連携を強化し、就業促進を図る。 ・インターンシップ受入先企業の開拓や高校・大学等と地域間の交流を促進することにより、当町への雇用創出及び若者定着を図る。	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野1 土地利用

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
92	国土利用計画(吉田町計画)策定事業	国土利用計画事業費	—	・均衡ある土地利用を図るため、第3次吉田町国土利用計画に沿った土地利用を進めている。 ・第4次吉田町国土利用計画策定に向けて社会情勢をとらえるほか、県、国が実施する研修会等に参加して情報収集を行う。 ・第4次吉田町国土利用計画策定に伴い、調査業務や住民アンケートを実施する。	現状のまま継続	・令和4年度に実施する調査業務や今後の町の土地利用の方針に基づき素案を作成し、静岡県内の国土利用計画との整合性を図りながら、第4次吉田町国土利用計画を策定する。	企画課
93	土地利用及び開発行為関連事業	都市計画総務費	3,587	・東名吉田インターチェンジ周辺地域をはじめ、町全体の土地利用について検討を行う。 ・土地利用事業については、引き続き、健全な開発の誘導のため適切な指導及び誘導を行っている。 ・新たに報告のあった空家については、所有者に対し通知を送付し、適切な管理及び空家の周知を行っている。	現状のまま継続	・都市計画法に基づく開発許可制度及び町の土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過し、初期に開発された宅地分譲地等の調整池及び緑地広場の金属フェンス等の経年劣化が進み、住民の安全のため適切に修繕を行う必要が生じている。また、樹木の繁茂もみられ、住民の快適な住環境を創出するため引き続き、適正な維持管理に努める必要がある。 ・東名吉田インターチェンジ周辺の都市計画の誘導施策について、県都市計画担当部局、庁舎内関係課及び、町農業委員会など関係機関との協議を進め、今後の方策を検討し、推進する必要がある。	都市環境課
		土地利用対策費	1,809				
94	都市計画マスタープラン策定事業	都市計画マスタープラン策定事業費	—	・平成21年2月に策定し、平成30年3月に変更した吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進めている。 ・引き続き、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進める。また、次期吉田町都市計画マスタープランの策定に向け、社会情勢を的確に把握するとともに、情報収集等を進める。	現状のまま継続	・吉田町都市計画マスタープランは、都市計画法第18条の2の規定に基づき、町が、その創意工夫の下に住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の整備課題に応じた整備方針、地域の都市生活、経済活動等を支える諸施設の計画等をきめ細かくかつ総合的に定めたものである。 ・現行の吉田町都市計画マスタープランの計画期間は、令和7年度までとなっており、引き続きマスタープランに即した都市づくりを進めるとともに、次期計画の策定に向けた情報収集等を行う。	都市環境課

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 2 住 環 境

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況		令和5年度 of 方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
95	建築確認事務事業	建築確認事務費	153	・静岡県事務処理の特例に関する条例に基づき適正に事務処理を行う。	現状のまま継続	・引き続き、静岡県事務処理の特例に関する条例に基づく事務について、県の事務処理手引きに基づき円滑に処理する。	都市環境課
96	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,632	・花街道事業については、引き続き、里親に協力をいただきながら、幹線道路の花の維持・管理に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、引き続き補助金を交付することで、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出する。また、事業を促進するために新たに企業などを対象とするなどの検討を行う。	現状のまま継続	・花街道事業については、企業や若年層の里親の発掘に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、対象の拡大等を検討の上、引き続き補助金を交付することで、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出する。	都市環境課
97	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	32,472	・引き続き公共施設等の整備を行い住環境の改善を図る。 ・浜田土地区画整理事業については、組合の経営改善を目的として、支出を最低限に抑えるため、公共施設整備の簡素化を計る等、事業費削減に向けた事業計画の見直しを行った。 ・富士見土地区画整理事業については、公共施設管理者負担金を負担することにより組合の経営状況が改善された。	現状のまま継続	・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・保留地処分を進めることにより、定住の促進につなげる。	都市環境課
98	西の宮雨水幹線整備事業	西の宮雨水幹線整備事業費	—	・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業の補助金を活用し西の宮雨水幹線を整備を進める。	現状のまま継続	・計画的な雨水幹線の整備により、安全で快適な住環境を確保し、保留地販売の促進を図る。	都市環境課
99	支線成因寺川整備事業	支線成因寺川整備事業費	—	・実施予定無し。	見直しの上で実施	・建設課発注による湯日川水系治水対策検討業務の結果に基づいて、河川断面の検討ののち、緊急自然災害防止対策事業債を活用し支線成因寺川(L=282.1m)の整備を図る。	都市環境課
100	町営住宅維持管理事業	町営住宅維持管理費	9,651	・引き続き、入居者が安心して生活できる住環境を確保するよう維持・修繕に努める。 ・令和5年度からの「吉田町公営住宅等長寿命化計画策定業務」を本年度中に策定し、引き続き計画的な長寿命化を図るための修繕・改善等を実施する。	現状のまま継続	・本年度策定する新たな「吉田町公営住宅等長寿命化計画(計画期間:令和5年度から令和15年度まで)」に基づき、長寿命化対策を図る。 ・松下団地については、引き続き空き状況を見ながら居住性改善工事を実施する。	都市環境課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

分野3 公園・緑地・水辺

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
101	緑化推進事業	緑化推進費	1,796	・吉田町みどりのオアシスマツリは第30回を記念し、バルーンリリースや緑化標語受賞者表彰、花いっぱい活動団体への感謝状及びワークショップや新たなセミナーなどを追加し、充実した内容でイベントを実施した。また、コロナ禍での開催であったが、感染症対策を取りながらイベントを実施することができた。 ・新築家庭苗木配布事業により、令和3年に住宅を建築した者に対して樹木苗木の配布を行った。 ・小山城まつり(11月)では、家庭における緑化啓発を目的として、吉田町花の会と連携し花苗等啓発物資の配布を行うことで、直接的に家庭レベルでの植栽活動の推進する予定である。	現状のまま継続	・吉田町緑のオアシス条例に基づき、引き続き緑化意識の普及に努める。また、緑豊かなまちづくりをさらに促進するため、緑化イベントがより魅力あるものとなり、多くの来場者が訪れるよう今後も事業内容を検討する。	都市環境課
102	公園維持管理事業	公園維持管理費	32,677	・公園を安全に利用できるよう、施設や遊具等の点検を行い、必要に応じて修繕を実施する。 ・公園を快適に利用できるよう、管理業務委託などにより、樹木などの管理を行う。	現状のまま継続	・公園を安全に利用できるよう、施設や遊具等の点検を行い、必要に応じて修繕を実施する。 ・公園を快適に利用できるよう、管理業務委託などにより、樹木などの管理を行う。	建設課
103	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	240	・公園愛護活動を行う団体に対して、報償金を交付し、愛護会と連携を図ることで、より適正な施設管理に努める。	現状のまま継続	・引き続き、公園愛護活動を行う団体に対し、報償金制度の積極的な活用を促進し、より適正な維持管理に努める。	建設課
104	公園整備事業	公園整備事業費	—	・実施予定無し。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和5年度は休止とする。	建設課
105	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	3,972	・令和3年度から始めた予防伐倒を実施するため、令和4年度においても伐倒駆除の実施を前倒しし、効果的な松林の保全に努めている。	見直しの上で実施	・薬剤地上散布の発注方法、実施時期を検討し、効率的に事業を実施する。	産業課
106	保安林等保護環境整備事業	保安林等保護環境整備事業費	4,194	・保安林の下草刈や枝打ち、支障木伐倒等を計画的に実施している。	見直しの上で実施	・保安林内の松葉やごみの回収を産業課職員が対応しているが、年々量も増えていることから、業務委託を含め、実施方法を検討する。	産業課
107	河川維持管理事業	河川総務費	1,625	・湯日川及び坂口谷川にある水門について、県から受託し、水門管理を実施する。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図る。 ・大井川右岸堤防について、路肩部の除草作業を実施する。	現状のまま継続	・湯日川及び坂口谷川にある水門について、県から受託し、水門管理を実施する。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図る。 ・大井川右岸堤防について、路肩部の除草作業を実施する。 ・自治会等と共に大井川堤防敷清掃を実施する。	建設課
		河川維持管理費	3,391				

第 4 章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野 4 道路網

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況	令和5年度 of 方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
108	大幡川幹線道路改良事業	大幡川幹線道路改良事業費	—	・地元及び地権者の考えを集約し調整した上で、これまでの設計条件等を変更し、新たな道路線形を検討している。	現状のまま継続	・道路整備着手に向け、整備計画の作成及び関係機関、地元関係者等との調整を図る。	建設課
109	中央幹線整備事業	中央幹線整備事業費	—	・事業実施に向け、測量、調査及び地権者との交渉を行う。	現状のまま継続	・歩道整備に向け、用地買収、物件移転補償などを実施する。	建設課
110	都市計画道路負担金事業	都市計画道路事業負担金	65	・「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」及び「富士山静岡空港アクセス道路等建設促進期成同盟会」において、国及び県への要望活動を行う。	現状のまま継続	・他市町と連携を図りながら国や県への要望活動を実施し、当町を含む広域的な道路整備の促進を図る。	建設課
111	問屋堤線道路改良事業	問屋堤線道路改良事業費	2,362	・用地買収のため、地権者との交渉を進め、契約締結、登記を実施する。	現状のまま継続	・道路改良に向けた工事を実施する。	建設課
112	大幡川尻2号線道路改良事業	大幡川尻2号線道路改良事業費	3,156	・実施予定無し	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和4年度以降は休止とする。	建設課
113	三軒屋西の宮線道路改良事業	三軒屋西の宮線道路改良事業費	—	・事業実施に向け、測量、調査及び用地交渉を行う。	現状のまま継続	・用地買収及び物件移転補償を進めるとともに、道路改良工事を実施する。	建設課
114	下片岡山通り線歩道改良事業	下片岡山通り線歩道改良事業費	—	・工事実施に伴い、近隣住民及び学校等との調整を行う。 ・歩行者の安全性向上のため、歩道改良工事に着手する。	見直しの上で実施	・令和4年度中に歩道の構造を再検討し、令和5年度に南側の歩道改良工事を実施する。	建設課
115	道路改良事業	道路改良事業費	—	・中瀬北原1号線道路改良事業の実施を検討。	見直しの上で実施	・中瀬北原1号線道路改良事業に着手する。	建設課
116	道路維持管理事業	土木管理費	18,493	・土木行政運営のため各種のシステムや公用車などの維持管理を行う。 ・道路に関する同盟会等の活動を通して、道路整備の促進を図る。 ・業務委託などにより幹線道路等の街路樹の適正な維持管理を行う。	現状のまま継続	・土木行政運営のため各種のシステムや公用車などの維持管理を行う。 ・道路に関する同盟会等の活動を通して、道路整備の促進を図る。 ・引き続き、安全で快適な道路環境を確保するため、道路の維持管理に努める。	建設課
		道路維持費	39,346	・定期的なパトロールを実施し、道路の損傷などを把握した際は、迅速に補修を行う。 ・町公式LINEを活用した住民通報システムを構築し、誰でも簡単に道路異常を伝えることができる環境を整備する。			
117	吉田町内道路舗装修繕事業	吉田町内道路舗装修繕事業費	51,357	・路面性状調査の結果に基づき、大幡川尻2号線の舗装修繕を実施する。 ・今後の舗装修繕に向け、土質調査を実施する。	現状のまま継続	・引き続き路面性状調査の結果に基づき、計画的な舗装修繕を実施する。 ・舗装の表層に係る補修は、公共施設適正推進事業債(長寿命化事業)を活用する。	建設課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
118	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	103,254	- 定期的な橋梁点検を業務委託及び職員により実施する。 - 点検結果に基づき、撤去が必要となった念佛橋の護岸復旧設計を実施する。 - 愛宕歩道橋及び大幡川幹線排水路第2号橋梁の補修工事を実施する。	現状のまま継続	引き続き定期的な橋梁点検を実施するとともに、点検の結果補修等が必要となった橋梁について計画的な補修設計及び補修工事を実施する。	建設課
		橋梁維持補修費(繰越明許)	51,669				

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野5 生活交通

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
119	生活交通確保対策事業	生活交通確保対策費	14,716	- 吉田町地域公共交通計画の基本方針の一つにある「新しい交通」の導入に向け、令和5年度からの実証運行のため、住民懇談会において協議する。 - 引き続き、地域間幹線系統確保維持費補助金により、国庫補助路線の維持を図る。 - 吉田町バス交通活性化対策事業費補助金を活用し、バス利用者の利便性向上に繋げる。	現状のまま継続	令和3年度に策定した「吉田町地域公共交通計画」に基づき、交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら、新しい交通の導入に向けた実証実験を行い、公共交通の改善や移動手段の確保に取り組む。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野6 コミュニティ

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
120	自治会活動推進事業	自治振興費	15,100	- 各自治会がそれぞれ地域の特性を生かし自発的に行っている自治会活動などを支援するため、引き続き、自治会運営費補助金を交付する。 - 町と自治会役員との連携や交流を図ることなどを目的として、各種研修事業を実施する。	現状のまま継続	自治会組織、町内会組織の円滑な運営のため、引き続き、各種補助事業を実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動が行われるよう支援する。	総務課
		自治会運営費	4,642				
		地域施設管理費	2,650				
		町内会運営費	3,800				
		町内会活動費	8,716				
121	コミュニティづくり推進事業	コミュニティづくり推進事業費	0	コミュニティカレッジ受講者が地域教育推進協議会の企画する事業へ参画できるように、コミカレねっとわーく吉田と協力を図りながら、事業を推進する。また、自治会及び他団体にも協力依頼をする。	現状のまま継続	引き続き、多くの町民がコミュニティづくりの研修を受講することにより、生涯学習としてのまちづくりについて学ぶ機会を提供する。また、受講した町民には、地域教育推進協議会が企画する事業への参画を促進する。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
122	コミュニティ施設整備事業	コミュニティ施設整備事業費	5,000	・(一財)自治総合センターが実施する「令和4年度一般コミュニティ助成事業助成金」を活用し、東浜町内会及び住吉上組町内会の備品整備を行った。 ・各自治会を通じて、(一財)自治総合センターの「令和5年度コミュニティ助成事業」の要望調査を実施し、要望に基づき取りまとめを行い県へ申請する。	現状のまま継続	・コミュニティ助成事業助成金を効果的に活用できるよう、各自治会に周知を徹底し、事業を実施する。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野7 多文化共生

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
123	多文化共生推進事業	多文化共生推進事業費	449	・引き続き、国際交流協会の活動を支援し、町内在住外国人と地域住民の共生を推進する。 ・「吉田町多文化共生総合相談窓口」のさらなる活用を促すため、多文化共生コーディネーター(通訳)の相談対応スキルの向上を図る。 ・吉田町に住む外国人のための情報誌「友情」の配置箇所を増設する。	見直しの上で実施	・吉田町国際交流協会が補助金を活用して実施している事業の一部について、業務委託への移行に向けた検討を行う。 ・令和4年度の実績を踏まえ、必要に応じて「吉田町多文化共生総合相談窓口」の運営体制等の見直しを行う。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野8 賑わいづくり

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
124	シーガーデンシティ推進事業	シーガーデンシティ推進事業費	145	・沿岸部における賑わい創出に向け、吉田公園南側の利活用を検討するための業務委託を実施している。 ・吉田IC周辺の整備に向け、関係機関協議やバスターミナルの整備規模、施設計画等についての検討業務委託を実施している。 ・引き続きシーガーデン整備に係る打ち合わせ会を定期的に開催し、情報共有を図っている。	見直しの上で実施	・吉田公園南側のエリアについて、令和4年度の業務委託の成果を踏まえ、利活用に向けた整備を具体化していくため関係機関等との調整を進める。 ・吉田漁港多目的広場を活用した賑わいづくりに向け、民間企業等の意見を取り入れながら広場利活用の方向性を決めていく。 ・吉田IC周辺のバスターミナル整備に向けては、令和4年度に実施する検討結果を基に、国の補助金等を有効活用できる事業スキームを検討し、各種計画策定、予備設計等の手続きを進めていく。	企画課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度取組状況	令和5年度方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
125	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業費	41,003	・若年世帯新築住宅取得応援補助金について、住宅メーカーや不動産業者のほか金融機関にチラシの配架を依頼しているほか、町外から通勤している従業員が多い大規模事業所に対して、従業員に向けたチラシの配付を依頼している。 ・移住定住の促進や関係人口の増加等を目的としたシティプロモーションの推進に向け、各課(局)の職員で構成される「吉田町シティプロモーション推進委員会」を新たに設置した。	見直しの上で実施	・更なる定住人口の増加を図るため、企業や個人を対象に実施したアンケート結果を踏まえ移住定住施策の内容を見直し、住宅取得の支援及び定住を促進する。 ・町の認知度向上、移住促進に向け、町内の企業等と連携したシティプロモーションに取り組む。	企画課
		シティプロモーション事業費(繰越明許)	8,018				
126	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊事業費	7,635	・令和4年度から、隊員の業務を所管する課において契約事務等を行っている。 ・令和3年度の隊員の実績を踏まえ、隊員の活動のサポート等を行っている。	現状のまま継続	・隊員の業務を所管する課においてそれぞれ予算措置を行う。	企画課
127	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業費	419,862	・ポータルサイトを運営する、業界上位4社の内の1社と新たに契約を行い運用を開始した。(他3社は契約済) ・バナー写真の変更と共に、特産品の魅力がより伝わるよう、ランディングページの内容を変更した。 ・町の事業(プロジェクト)をPRする観点から、個別事業へのクラウドファンディングによる寄付手法を確立する。 ・自治体DXの観点から、オンラインワンストップサービスの実施等を計画する。	見直しの上で実施	・寄付額の増加や町への注目度を上げるための新たな広告手法について先進事例等の情報収集に努める。 ・返礼品単価が高く、効率的に寄付を集める自治体もあることから、高額返礼品の設定、食品以外(アクティビティ等)の内容についても模索する。	企画課
128	大井川流域交流事業	大井川流域smileネット事業費	881	・令和4年度から吉田中継局の管理業務について、防災課へ移行。 ・イベントの広報の方法や内容を見直し、大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進を図っている。 ・イベントの広報の方法や内容を工夫し、流域住民同士の交流促進を図っている。 ・広報誌、HPの他、LINEを活用し、大井川流域の情報を発信する予定。	現状のまま継続	・令和4年度の取組状況を踏まえながら引き続き大井川流域の情報発信に努める。	企画課
		大井川流域交流費	351				
129	空港活用推進事業	空港活用推進費	242	・空港周辺市町空港共生協議会において、新型コロナウイルス感染症感染予防に努めながらPR事業を実施する。 ・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、シーガーデン多目的広場整備事業及びシーガーデン海浜回廊整備事業、シーガーデン・レジャーとスポーツゾーン整備事業、川尻区及び片岡区の道路改良事業、川尻区の雨水幹線整備事業、中学校給食用エレベーター改良工事事業、耕作条件改善事業費補助事業に補助金を活用する。	現状のまま継続	・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 ・空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会の事業を継続する。 ・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、引き続きシーガーデン多目的広場整備事業等に補助金を活用する。	企画課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
130	交流活性化推進事業	地域交流費	1,263	・カムカム補助金対象イベントの開催に向けた事業者のサポートを行っている。 ・八女市・吉田町未来創造の翼交流フォーラムの3年ぶりの開催に向けた検討を行っている。	見直しの上で実施	・町内での大規模イベントの開催を促進するために、様々な媒体を活用し全国に向けて支援制度等を広く周知していく。	企画課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 1 幼 児 教 育

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
131	幼児教育振興事業	幼児教育振興事業費	92,258	・幼児教育の更なる推進のため、令和3年度に全教職員研修会において幼保小の先生が幼児教育の充実に向けた話し合いを行い、相互の交流及び連携を深めることができたため、令和4年度においても同様に実施し、更に交流及び連携を深めている。 ・私立幼稚園運営費補助金については、引き続き実施している。 ・新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金を引き続き交付する。	見直しの上で実施	・今後、更に幼保小の交流・連携を深め幼児教育の充実を図るため、幼児教育カリキュラムについては、現状のまま継続して実践する。 ・私立幼稚園運営費補助金については、幼児教育・保育の無償化、吉田町幼児教育カリキュラムの実施等、現状の状況を踏まえ、適正であるか見直した上で実施する。	学校教育課
		幼児教育振興事業費(繰越明許)	1,000				

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 2 学 校 教 育

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
132	教育委員会運営事業	教育委員会費	895	・教育大綱及び新学習指導要領に沿った教育施策を円滑に実施するため、総合教育会議及び教育委員会において充実した協議を行えるよう会議運営をしている。 ・学校現場に即した教育施策を協議するため、学校訪問等を実施する。	現状のまま継続	・教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。 ・教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行に当たっては、総合教育会議で合意した方針の下に進める。	学校教育課
133	事務局事務事業	事務局事務費	2,055	・学籍管理、就学時健診の実施、経常経費の執行及び関係団体への負担金の納入等を適正に行うことで、適切な教育委員会事務局の運営を行っている。	現状のまま継続	・教育委員会の諸活動を円滑に実施するために、引き続き適切な教育委員会事務局の運営を行う。	学校教育課
134	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	1,595	・中学校体育連盟大会運営負担金等の支出や中学校部活動補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成等を図っている。	現状のまま継続	・部活動補助事業については、対象者、対象経費等を確認し、必要な経費を適切に補助する。	学校教育課
135	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	2,556	・新型コロナウイルス感染防止対策として、入口に手指消毒剤、館内トイレに除菌液を設置するとともに、室内の換気とスリッパ等の除菌を継続して行っている。 ・ちいさな理科館の取り組みを周知するため、町内企業をはじめ、町内小中学校、静岡水産・海洋技術研究所、県内科学館などと連携した講座を展開している。 ・「ちいさな理科館の日」及び「理科館週間」にイベントを引き続き実施し、理科館活動の活性化を図る。	現状のまま継続	・子供だけでなく大人も活用できる地域住民の生涯学習の場としての事業を展開し理科館の活性化を図る。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実組状況	令和5年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
136	住吉小学校維持管理事業	住吉小学校維持管理費	30,995	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
137	中央小学校維持管理事業	中央小学校維持管理費	39,515	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
138	自彊小学校維持管理事業	自彊小学校維持管理費	27,595	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
139	吉田中学校維持管理事業	吉田中学校維持管理費	46,890	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
140	小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	住吉小学校要保護・準要保護児童就学援助費	2,052	・経済的理由によって就学困難な児童生徒に必要な援助を行い、保護者負担を軽減し、児童及び生徒が等しく円滑に教育を受けることができる。 ・事務の簡素化及び効率化を図るため、就学援助費の定額支給について検討を始めた。	見直しの上で実施	・今後の国及び近隣市町の動向を注視しつつ事業を実施するとともに、入学説明会における周知等を行い、適切な援助を実施していく。 ・事務の簡素化及び効率化を図るため、就学援助費の定額支給を実施する。	学校教育課
		中央小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,603				
		自彊小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,136				
		吉田中学校要保護・準要保護生徒就学援助費	5,266				
141	小・中学校特別支援学級事業	住吉小学校特別支援学級費	519	・必要に応じた教育材料費の購入等を行い、特別支援教育の充実及び教育環境の向上を図っている。 ・特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、要領等に基づき、適切に経済的な支援を行っている。	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童生徒の特性を鑑み、必要な教材等を提供することができている。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、適切に経済的な支援を行うことができている。	学校教育課
		中央小学校特別支援学級費	857				
		自彊小学校特別支援学級費	545				
		吉田中学校特別支援学級費	762				

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
142	教育振興事業	教育振興事業費	17,102	・国が進めるGIGAスクール構想に伴う小中学校への一人一台端末の配備と普通教室へのWi-Fiネットワーク環境の整備は令和2年度に完了し、令和3年度からは端末使用の開始に伴いICT支援員の配備及び教職員への研修等を行い十分に活用できる体制を整えた。令和4年度は体育館でのWi-Fiネットワーク環境を整備し、さらに活用の範囲を広げた。また、学校施設の老朽化に伴い、今後計画的な修繕を実施するための劣化診断を行っている。	見直しの上で実施	・児童生徒の確かな学力の定着を図るため、教職員を対象とした研修において、新たに重点校を設置し、授業改善を目的とした研修内容をより充実したものとする。	学校教育課
		英語教育推進事業費	15,558				
		確かな学力定着事業費	22,746				
		小中一貫教育振興事業費	234				
143	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(共同調理場)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(給食施設費)	124,429	・広域施設組合及び関係市と連携し、学校給食提供事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、学校給食提供事業を展開していくため、負担金を支出する。	学校教育課
144	小・中学校健康診断事業	小・中学校健康診断費	10,823	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童生徒健康診断やフッ素洗口事業の適切な実施体制を整えた上で、適正に健康診断等を実施している。 ・吉田町立学校職員衛生委員会における意見等を踏まえ、労働安全衛生管理体制の整備や町内全小中学校に勤務する教職員を対象としたメンタルヘルスチェックの実施など、学校職員の職場における安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進している。	現状のまま継続	・労働安全衛生法及び吉田町学校職員安全衛生管理規定に基づき、健康診断等を通して健康管理を行う。 ・児童生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう、新型コロナウイルス感染症への対応を確実に実施するとともに、国、県、町健康づくり課の施策・動向に目を配りながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行っていく。	学校教育課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野3 地域教育

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
145	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	1,495	・目的達成に向け、各団体の支援を継続し、「地域の子供は地域で育む」活動を推進する。 ・家庭教育学級の充実を図るため、親の役割について学ぶ機会を提供するだけでなく、保護者の興味がある内容を学習する場を提供し、家庭での教育力を高めていく。 ・平日4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施している。	現状のまま継続	・各団体に継続した支援を行い、引き続き学校・家庭・地域の連携を強化する。 ・引き続き、家庭教育学級事業を通して、親の役割についての学びの場を提供する。また、親同士がお互いに子育ての悩みを語ったりすることを通して、親同士の交流を深める。 ・家庭教育学級事業において、多くの親に参加を求めていく必要があるため、魅力的な講座を展開していく。学校行事と抱き合わせで開催したり、親子で体験・参加できる形態をとることで参加しやすくし、また、親が安心して参加できるよう、託児の対応もしていくことで参加率を向上させる。 ・家庭教育学級の重要性を学校とも連携をとりながら、親へ呼びかける。 ・引き続き、3小学校区で4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施する。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実組状況	令和5年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
146	地域教育活動事業	地域教育活動費	839	・静岡県立焼津青少年の家で活動を行い、普段では体験できない海洋活動を実施する予定である。 ・チャレンジ教室については、閉講式で体験教室の時間を長めに設定し、様々な講座の体験をすることで、興味を持ち、次年度への受講へとつなげていく予定である。	現状のまま継続	・チャレンジ教室事業を行うことで、子どもに様々な体験を提供することができるとともに、地域の大人と子どもが関わる機会が増え、事業を通して「地域の子どもは地域で守り育てる」活動を広めることができることから継続して実施する。 ・子どもたちが様々な体験ができるように多種多様な教室を設定するため、地域から新たな講師を発掘する。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野4 青少年健全育成

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
147	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	579	・「笑顔いっぱい運動」事業による、現状の取組を継続していくことが、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながっている。笑顔いっぱい運動の賛同していただける方に黄色のベストを貸与しているが、今年度もこの事業を継続することで学校・家庭・地域の中に黄色のベストをさらに定着させ「笑顔いっぱい運動」を周知していく。そして、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストを活用していただくことでこの事業を更に周知させていく。	現状のまま継続	・「笑顔いっぱい運動」事業による、現状の取組を継続していくことが、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながると考えられるため、この事業を継続していく。学校・家庭・地域の中に黄色のベストをさらに定着させ、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストを活用していただくことで「笑顔いっぱい運動」事業を更に周知していく。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野5 芸術文化・文化財

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和5年度の方針	令和5年度の方針	
148	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	2,070	・子どもたちに文化、芸術に親しめる場の提供を行うため、小学校における芸術鑑賞教室と観劇公演を実施する。 ・文化祭については、町民に日ごろの練習を披露する「発表の場」を提供する。文化祭により多くの町民が参加するようPRし、広報での情報提供など参加者を増やすよう努力する。	現状のまま継続	・児童が優れた芸術文化を鑑賞できる機会を得られるよう事業を継続する。 ・文化協会会員が減っている現状にあり、今後、町民に対し、生涯学習活動の一環として文化活動に取り組むよう、文化協会のPRなどをする必要がある。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
149	文化財保護事業	文化財保護事業費	880	- 文化財の適正な保存・保護に努める必要があるとの判断から、老朽化した案内看板の修繕に取り組んでいく。 - 文化財現況調査の結果・指導経過を保存し、今後、有効かつ適正な維持管理をしていくための資料を作成する予定	現状のまま継続	- 文化財保護審議会を運営し、町の文化財の適正な保存・保護に努める。 - 文化財の標柱・案内看板の維持管理を推進する。 - 新規に指定が考えられる事物について、文化財保護審議会で審議する。 - 文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土愛を育て、豊かな心を育む教育、文化づくりにつながる。	生涯学習課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 6 生 涯 学 習

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
150	社会教育総務事業	社会教育総務費	167	職員の資質向上が図られるよう、社会教育関係の様々な団体の研修会に参加する。	現状のまま継続	- 引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 - 更なる職員の資質向上を図るため、研修会に参加する。	生涯学習課
151	社会教育委員事業	社会教育委員費	551	令和4年度に実施予定の社会教育フェスティバル「つながろうよしだ」については、総合体育館が新型コロナウイルス予防接種の会場のため、中止となった。	現状のまま継続	社会教育委員会が提言してきた、社会教育フェスティバル「つながろうよしだ」を実施することにより、社会教育団体全体のつながりを高め、町民の方に社会教育団体への加入を促す。	生涯学習課
152	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	96	- 生涯学習推進員に対する研修の実施方法について検討していく。 - 業務委託をすることで障害者が必要としている学習の機会を提供していく。	現状のまま継続	- 生涯学習推進員を対象とした研修を行い、地域ぐるみの生涯学習の推進を行う。 - 誰もが平等に学習機会を持てるよう、障害者に対し、生涯学習の活動支援を行う。	生涯学習課
153	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	4,609	町民の学習ニーズを把握するために、実施後にアンケート調査を実施し、ニーズに合った様々な分野の講座を開設し、参加者数を増やす。	現状のまま継続	- 継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 - シニアカレッジ、生涯学習教室へより多くの人に参加してもらうために、魅力ある様々な講座を開講し、学習機会の充実を図る。	生涯学習課
154	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	5,550	建物、設備の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理を行うことにより、経常経費を抑えつつ、安全で快適な学習環境を整える。	現状のまま継続	安全で快適な学習環境を提供するため、建物、設備の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
155	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	6,471	- 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用の際のチェックリストの提出、ポンプ型石鹸・手指消毒液の設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを継続して実施している。 - 学習ホール駐車場外灯照明設備をLED化するための改修工事を実施する。 - 引き続き、施設の運用について適正な維持管理に努める。	見直しの上で実施	安全に安心して利用できる施設とすべく、老朽化や耐震性の課題に対して長寿命化計画を策定し、計画的な改修や修繕を実施する。	生涯学習課
156	図書館管理事業	図書館管理費	164,805	- 施設の経年劣化に伴う修繕が頻繁であることから、計画に基づいた修繕を実施していくための調査を開始した。 - 新型コロナウイルス感染防止対策として、入口に手指消毒液、諸室に除菌シート、館内トイレに除菌液をそれぞれ設置し、引き続き利用者の協力を求めている。また、学習室、おはなし室に空気清浄機、視聴覚ホールにAI顔認証サーモグラフィーを設置し、感染症対策を講じて安全に利用できる環境を提供している。	現状のまま継続	- 図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。 - 図書館の安定的運営に資するため用地の買い上げを図る。	生涯学習課
157	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	8,605	- 保健センターでの7か月児健康相談において、ブックスタート事業を試行で再開する予定。 - 要望の多い高齢者向けの紙芝居を新たに購入する予定。 - 読書バリアフリー法の推進する読書環境の整備の一環として大活字本を選定し、購入する予定。	見直しの上で実施	- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、町民の図書館利用の仕方やニーズが変化してきている。新しい生活様式にあった資料提供、図書館運営、行事を検討し、実施していく。 - 令和4年11月に更新する図書館情報システムにより、利便性の高い図書館サービス提供を実施していく。 - 読書バリアフリー法の制定、著作権法改正による業界の動向を注視しながら、新たなサービス展開に向け調査をし、環境を整備していく。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野7 スポーツ・レクリエーション

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
158	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	7,518	- 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸の設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを継続して実施している。 - 使用日誌の特記事項に記載があった場合には、早急に現状を確認し、対応策等について利用者へ報告している。 - 高島スポーツ広場と舟山農村広場の既存の和式トイレを洋式トイレに変更する。	現状のまま継続	今後も利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設・広場の適正な維持管理を実施する。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
159	総合体育館運営事業	総合体育館運営費	19,040	- 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸・手指消毒液の設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを継続して実施している。 - 空調設備を効果的に稼働させることにより、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場としての快適な環境を接種者や従事者へ提供しており、結果として接種率の向上に寄与している。 - 各種の施設設備の保守点検を実施して適正な維持管理に努めるとともに、体育館の利用については利用者会議の開催や事前調整等を行ってスムーズな運営に努めている。	見直しの上で実施	体育館の利用者人口を増やすための方策として、新たな大会・イベント等の企画運営や施設自体の運営について、指定管理者制度への移行について検討する。	生涯学習課
160	吉田町体育センター運営事業	吉田町体育センター運営費	1,779	- 新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用時のチェックリスト作成、ポンプ型石鹸・手指消毒液の設置、手洗いうがい励行の呼び掛けを継続して実施している。 - 施設の適正な維持管理に努める。	現状のまま継続	今後も、利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、施設の適正な維持管理を実施する。	生涯学習課
161	社会体育振興事業	社会体育振興費	6,072	- 令和4年度は、健康づくり課よりダンス健康づくり事業が移管され、親子体操及び高齢者向け体操を実施している。 - 保有する情報、資源を効果的に活用できると考え、昨年度に引き続き、しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業を活用している。また、常葉大学と連携することで、スポーツ推進委員と町民が取り組みやすいスポーツ振興策を考えていく。	見直しの上で実施	- スポーツ推進委員や常葉大学からアイデアをいただき、様々な年齢層が取り組みやすいスポーツを通して、体力づくりやコミュニケーションづくりの推進を図っていく。 - 新規事業として、高齢者を対象としたスポーツ教室を開講し、町内のスポーツ人口拡大を目指すために、高齢者層に対しても新たなスポーツに参加できる場を提供していく。	生涯学習課
		ダンス健康づくり事業費	233				
		健康体操運営費	999				

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況		令和5年度の方針性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
162	水道事業会計(資本的支出)建設改良事業	建設改良費	225,294	- 安全な水道水を安定して供給するため、予定していた建設改良事業を着実に進める。 - 引き続き静岡県生活基盤施設耐震化等補助金の交付を受け、基幹管路の耐震化を進める。	現状のまま継続	- 水道水の安定供給を図るため、基幹管路の耐震化事業を進める。 - 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に布設替を実施していく。	上下水道課
		固定資産購入費	716				
163	水道事業会計(水道事業費)営業費用	原水浄水及び配水給水費 受託工事費 業務費 総係費 減価償却費 資産減耗費 その他営業費用	126,072 1,744 36,959 20,371 240,118 17,165 50	- 吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程等に基づく事務を行う。 - 地方公営企業会計制度等による企業会計基準で会計処理を実施する。 - 未収金徴収を引き続き行い、昨年度同様の収納率を維持する。 - 漏水調査や施設の適切な維持管理を行い、有収率を向上させる。	現状のまま継続	水道事業は、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること」を目的とし、安心して飲用できる安全な水道水を安定的に供給するため、吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程、地方公営企業会計制度等に基づき、適正な事務を行うとともに、漏水調査や施設の適切な維持管理を行う。	上下水道課
164	水道事業会計(水道事業費)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費 雑支出 消費税	40,703 66 20,707				
165	水道事業会計(水道事業費)特別損失	その他特別損失	0	会計処理上の様々な不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。	現状のまま継続	会計処理上の不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。	上下水道課
166	水道事業会計(水道事業費)予備費	予備費	0	様々な不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。	現状のまま継続	不測の事態に対応するため、引き続き予備費を予算計上する。	上下水道課
167	水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	162,723	「当該年度の借入額は当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い、企業債残高を減らす。	現状のまま継続	引き続き、借入の原則に基づき企業債残高を減らし、借入先からの償還表に基づいて企業債を償還する。	上下水道課
168	水道事業会計(資本的支出)国庫(県)支出金返還金	国庫(県)支出金返還金	0	静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。	現状のまま継続	静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。	上下水道課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり 分野2 下水道・浄化槽・し尿処理

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実行状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
169	公共下水道事業繰出金	公共下水道費	608,000	・繰出先の公共下水道事業が、滞りなく汚水処理を行えるよう引き続き繰出しを行う。 ・繰出金について、負担金と補助金に分けた計上としている。	現状のまま継続	・公共下水道事業が滞りなく執行できるように、下水道事業で賄うことができない費用に対して、一般会計からの繰出しを継続する。	上下水道課
170	公共下水道事業会計(資本的支出)建設改良費	建設改良費	433,876	・令和4年度も下水道の普及促進のため、管渠を整備するとともに、既存施設への地震対策及びストックマネジメント計画に基づく施設の更新工事を実施する。	現状のまま継続	・下水道の普及促進のため、吉田町公共下水道全体計画及び吉田町公共下水道事業計画に沿って事業を実施する。 ・ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の更新を実施する。 ・下水道総合地震対策計画に基づき、地震対策事業を実施する。	上下水道課
171	公共下水道事業会計(下水道事業費用)営業費用	管渠及び処理場費	145,137	・ストックマネジメント計画に基づく、点検調査結果により管路の清掃等必要な施設管理を適切に実施できている。 ・原油価格高騰により電力使用料削減の効果が得られなくなり、小売電気事業者との契約見直しを余儀なくされた。	現状のまま継続	・ストックマネジメント計画に基づく予防保全型の施設管理を行い、更新・修繕費用の抑制を図るとともに、安定した汚水処理機能を維持する。 ・原油価格・物価高騰が継続し、費用の増嵩が見込まれるが、業務集約などにより経費削減・事業の効率を図る。	上下水道課
		総係費	38,085				
		減価償却費	449,745				
		資産減耗費	156				
172	公共下水道事業会計(下水道事業費用)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	82,479	・引き続き、適正な会計事務を行うため、借入先からの償還表等に基づく償還を行う。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて企業債利子を償還する。	上下水道課
173	公共下水道事業会計(下水道事業費用)特別損失	その他特別損失	0	・特別損失を計上し、会計処理上の不測の事態に備えている。	現状のまま継続	・会計処理上の不測の事態に備えるため、特別損失を計上する。	上下水道課
174	公共下水道事業会計(下水道事業費用)予備費	予備費	0	・下水道施設が常に使用できる状態を継続するため、不測の事態に備え予備費を計上する。	現状のまま継続	・引き続き、不測の事態に備え、予備費を計上する。	上下水道課
175	公共下水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	446,131	・「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い地方債残高を減らす。	現状のまま継続	・引き続き地方債残高を減らすため、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	上下水道課
176	生活排水改善対策事業	生活排水改善対策事業費	32,616	・予算額を大幅に増額し、合併処理浄化槽の設置・転換希望者に対応している。	見直しの上で実施	・補助要望に対応するため、事業費の増額とともに、国庫補助制度の拡充に歩調を合わせた支援を検討し、合併処理浄化槽の設置及び転換を推進する。	上下水道課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
177	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)	106,574	・広域施設組合及び関係市と連携し、し尿処理事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	・引き続き広域施設組合及び関係市と連携し、し尿処理事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 3 環 境 衛 生

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
178	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	2,675	・畜犬の飼育実態の把握に努めるとともに、保健所と連携した個別訪問や動物病院での個別指導を実施することで、飼い主への適正飼養や狂犬病予防注射の接種の働きかけを行う。また、飼い主のいない猫による生活環境問題を減少させるために、引き続き獣医師や協力団体と連携を行う。	現状のまま継続	・「狂犬病予防法」に基づく事務処理及び「動物の愛護及び管理に関する法律」で行える飼い主のいない猫による対策を講ずる。また、一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を適切に行う。	都市環境課
179	環境保全事業	環境保全費	17,380	・他課からの依頼による公共用地の除草作業や定期的な不法投棄のパトロールを実施することにより、生活環境の保全に努め良好な生活環境を維持する。	現状のまま継続	・引き続き、町民の環境美化活動に対する意識の啓発や活動の参加を促し町民参加によるきれいで住みよい生活環境づくりを推進する。	都市環境課
180	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	13	・令和3年度に引き続き、町民の環境問題に関する意識を高めるような、より身近で関心の高いテーマの学習の場を提供する。	現状のまま継続	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境について考える機会を増やす。また、他課との連携による環境啓発事業を実施する。	都市環境課
181	公害対策事業	公害対策費	5,792	・適正な環境監視と公害発生源対策を推進するとともに、新たな環境問題については関係機関と連携するなど的確な対応を進める。	現状のまま継続	・各種法律に基づく特定施設について排出基準等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。 ・「環境基本法」に定められた、自治体における環境保全に関する「環境基本条例」制定のための準備を行う。	都市環境課
182	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	10,470	・広域施設組合及び関係市と連携し、火葬場運営事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	・引き続き広域施設組合及び関係市と連携し、火葬場運営事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり

分野 4 ごみ減量・リサイクル

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
183	ごみ減量・リサイクル推進事業	ごみ減量・リサイクル推進事業費	8,412	・一般ごみの減量化や資源化を推進するため、ごみの分別を徹底し資源化を図る。	現状のまま継続	・環境に配慮した循環型社会を目指し、一般廃棄物の適正処理やごみの減量化・資源化を推進する。	都市環境課
184	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	477,108	・広域施設組合及び関係市と連携し、ごみ処理事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	・引き続き広域施設組合及び関係市と連携し、ごみ処理事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊かな自然と共生するまちづくり

分野 5 地球温暖化防止対策

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
185	地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業費	300	・「吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業費補助金交付要綱」に基づき、太陽光発電システムと蓄電池システムを同時設置する者に対し補助金を交付することで、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの利用を推進し二酸化炭素の排出を抑制する。	現状のまま継続	・「地球温暖化対策推進法」に基づき、様々な環境対策を推進し町民や企業と協力することを視野に入れながら、地球温暖化を防止し、低炭素社会を実現する。	都市環境課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 1 行 財 政

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実行状況		令和5年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
186	一般行政事務事業 (企画)	企画調査費	2,534	・中部5市2町首長会議に参加し、広域連携に関する調査・検討を実施している。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取り組みを行い、「第2期しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の掲載事業を実施する。 ・第5次吉田町総合計画後期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価に伴い、吉田町総合計画等審議会を開催する。	現状のまま継続	・絶えず変化する行政課題に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取組を行い、「第2期しずおか中部連携都市圏ビジョン」の掲載事業を継続して実施する。 ・第6次吉田町総合計画策定に向けた準備に伴い、吉田町総合計画等審議会を開催する。	企画課
187	吉田町総合計画策 定事業	吉田町総合計画策 定事業費	—	・検討した内容により、総合計画策定支援業務委託契約を行い、策定に向けた取り組みを進めた。	現状のまま継続	・後期基本計画の最終年度である令和5年度に向けて進捗管理を行うとともに、計画通り次期総合計画の策定をする。	企画課
188	行財政構造改革推 進事業	行財政構造改革推 進事業費	29	・款項目事業コードを活用したマスタ管理を行い、「吉田町まちづくりステップアップシート」の作成に係る事務負担の軽減を図る。 ・昨年度までの職員説明会は、すべての資料を印刷し、配付していたが、6月10日(金)に開催予定の職員説明会では、印刷に係る紙の削減及び業務の効率化を図るため、データ共有において実施する。 ・吉田町行財政構造改革推進本部会議において、第5次吉田町総合計画後期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価についてを審議する。	見直しの上で実施	・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による、PDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・引き続き、吉田町行財政構造改革推進本部会議において、行財政改革に関することを中心に審議を実施する。 ・第6次吉田町総合計画策定に向け、吉田町行財政構造改革推進本部会議を開催する。 ・財務会計システムと連動した行政評価システムの構築に向けて、関係機関と調整を図り、運用時期や仕様等の方向性を決める。	企画課
189	一般行政事務事業 (総務)	一般行政事務費	34,338	・行政事務を、適正かつ円滑に執行するため、引き続き事務改善に努める。	現状のまま継続	・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。	総務課
190	吉田町牧之原市広 域施設組合負担金 (一般管理費)	吉田町牧之原市広 域施設組合負担金 (総務管理費)	25,696	・引き続き、関係市と連携を密に広域的事業を展開することで、事務の効率化を図る。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。	総務課
191	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	—	・日曜開庁事業を一層推進するため、引き続き、適正に事業を進める。	現状のまま継続	・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁を実施する。	総務課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況	令和5年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
192	庁舎施設維持管理事業	庁舎管理費	81,398	・快適な公共施設空間を確保するために継続して維持管理を行う。	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的な管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る必要があるため。	財政管理課
		庁舎管理費(繰越明許)	2,188				
193	公有財産管理事業	公有財産管理費	20,850	・公共施設のより適正な維持管理を実施していくため、公共施設個別施設計画と公共施設等総合管理計画を比較し、公共施設等総合管理計画改訂の必要性を検討する予定である。	見直しの上で実施	・公共施設のより適正な維持管理を実施していくため、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。	財政管理課
194	公用車管理事業	公用車管理費	4,436	・安全かつ迅速に公務を執行できるよう、引き続き公用車の適正な維持管理を行うとともに、今後の更新方法や更新年度の検討を行う予定である。	見直しの上で実施	・公用車の今後の更新方法や更新年度の検討を行う必要があるため、公用車管理に係る基本方針案を作成する。	財政管理課
195	契約管理事業	契約管理費	1,239	・契約事務の適正な執行を図るため、職員を対象とした契約制度説明会を開催した。	現状のまま継続	・職員が契約事務を適正に執行できるよう、引き続き、指導・助言していく必要があるため。	財政管理課
196	選挙管理事業	選挙管理費	462	・公職選挙法に基づき、引き続き、公正かつ適正な事務処理を行う。 ・新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえた選挙運営について、引き続き、調査研究している。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
197	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	94	・選挙・政治に関する知識及び意識を一層向上させるため、引き続き、積極的な選挙啓発を行う。	現状のまま継続	・選挙・政治への関心を高めるため、引き続き、ポスターコンクール、選挙出前授業、選挙時の啓発等を行う。	総務課
198	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	7,453	・令和4年7月10日に参議院議員通常選挙が執行される予定である。	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和5年度については、選挙の予定はない。	総務課
199	衆議院議員選挙事業	衆議院議員選挙費	11,858	・選挙の予定はないが、公正かつ適正な選挙を執行するための調査研究をしている。	休止	・公職選挙法に基づく衆議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和5年度については、選挙の予定はない。	総務課
200	県知事選挙事業	県知事選挙費	9,330	・選挙の予定はないが、公正かつ適正な選挙を執行するための調査研究をしている。	休止	・公職選挙法に基づく静岡県知事の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和5年度については、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度 of 取組状況	令和5年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
201	県議会議員選挙事業	静岡県議会議員選挙費	—	・令和5年4月中に静岡県議会議員選挙が執行される予定である。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく静岡県議会議員の選挙が、令和5年度に執行される予定である。	総務課
202	町長、町議会議員選挙事業	町長、町議会議員選挙費	—	・令和5年4月中に町長、町議会議員選挙が執行される予定である。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく町長、町議会議員の選挙が、令和5年度に執行される予定である。	総務課
203	一般行政事務事業 (戸籍住民基本台帳事務)	戸籍・住民基本台帳事務費	30,785	・デジタル手続法の施行により、住基システム及び戸籍の附票のシステム改修、またマイナンバーを戸籍事務と連携するための戸籍情報システムの改修を実施したが、今後システムの本格稼働に伴い、事務手続きが円滑に遂行できるようにする。 ・マイナンバーカード申請用補助端末の設置により、マイナンバーカードの取得促進に努める。 ・システム改修により発生する操作手順や変更点など、職員への周知を徹底し、事務の円滑を図る。	見直しの上で実施	・戸籍事務へのマイナンバー制度導入に伴い、システム改修を実施し、円滑に遂行できるよう事務を進める。 ・総合証明自動交付機と証明書コンビニ交付サービスの併用は利便性の向上となるが経費がかかる。令和5年9月末に自動交付機契約終了により機器は撤去となるため、自動交付機廃止について広報等で周知とマイナンバーカードの取得促進に努める。 ・住民サービスの向上とマイナンバーカードの取得を促進するため、マイナンバーカードの申請、交付について引き続き周知、広報する。 ・令和4年度に改修した戸籍情報連携システムを、適正に運用していく。 ・令和4年度旅券電子申請に伴う機器等を設置(賃貸借)し、適正に運用していく。	町民課
204	一般行政事務事業 (出納管理事務)	出納管理事務費	2,448	・令和3年度の評価で対応した出納管理事務事業を、会計課職員内で共有し、誰もが同じレベルで業務を実施できるようにする。	現状のまま継続	・現在の日本における金融業界の現状と課題に注視し、現金ベースでの当町財務の安定に向けて、公金管理を行う。	会計課
205	一般行政事務事業 (議会)	議会運営費	65,695	・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要な精査及び検討について支援を行う。 ・より円滑な議会運営を目指し、新たな議案審議方法の検討について支援を行う。	現状のまま継続	・現状において円滑に議会運営ができているため。	議会事務局
		議会調査活動費	3,366	・議会情報の発信について支援を行う。 ・議会活動及び議会運営の支援に必要な専門的知識の習得及び情報の収集を行う。			
206	一般行政事務事業 (監査)	監査委員費	1,064	・監査計画に基づき監査を実施するとともに、さらに効率的かつ効果的な監査を目指し、日程及び監査対象等について検討する。 ・「吉田町監査基準」に準拠した効果的な監査を実施する。 ・監査に必要な情報収集に努めるとともに、知識の習得を目的とした研修等へ参加する。	現状のまま継続	・年間監査計画どおりに監査が実施されているため。	議会事務局

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実組状況		令和5年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
207	統計調査事業	統計一般事務費	171	・諸統計調査により得られるデータは各種行政運営に必要なため、引き続き実施する。 ・統計要覧発行事業について、引き続き発行部数を見直し、内容については、現状どおり最新のデータに更新して発行するが、ニーズや時代に即していない項目については、削除や修正等を行い、改善を図る。	見直しの上で実施	・各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 ・統計要覧発行事業は、行政だけでなく、住民、企業等に町の状況を正確に周知するために必要な事業であるため、継続して実施し、内容については時代やニーズに沿ったものにできるよう検討を続ける。 ・調査員の募集方法を見直し、より多くの登録統計調査員を確保する。	企画課
		諸統計調査費	903				
208	土地取得事業繰出金	土地取得事業特別会計繰出金	—	・現在、対象となる償還は無い。	現状のまま継続	・現在、対象となる償還は無いが、今後、対象となる償還があれば適切に対応する必要があるため。	財政管理課
209	土地取得事業特別会計	一般管理費	35	・土地開発基金への積み立てを継続して行う。	現状のまま継続	・土地開発基金への積み立て及び用地先行取得が必要な場合に迅速な対応が必要であるため。	財政管理課
		財産取得費	0				
		繰出金	0				
		公債費	—				
210	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	・土地取得事業特別会計から土地を買い戻すことを検討する予定である。	現状のまま継続	・土地取得事業特別会計で先行取得した土地を一般会計に買い戻すとともに、未利用財産の売却促進を図る必要があるため。	財政管理課
211	財政管理事業	財政管理費	3,273	・前年度決算を踏まえ、交付税措置のない起債の借入れを取り止めることにより、後年度負担の抑制に努める。	現状のまま継続	・後年度負担については、引き続き交付税措置率の高い有利な起債を中心に借入れを行うことで抑制を図る。 ・社会保障費等の増加、会計年度任用職員を含めた人件費の増加、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中で予算編成を行うことから、引き続き既存事業の必要性・妥当性を精査し財源を確保する。	財政管理課
212	公債費償還事業	公債費(元金)	1,018,422	・引き続き、借入先からの償還表に基づき償還する。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	財政管理課
		公債費(利子)	56,182				
		公債諸費	0				

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実行状況	令和5年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
213	基金費事業	財政調整基金費	456,585	・特定目的基金について、引き続き今後の事業実施に際し財源とするよう努める。	現状のまま継続	・引き続き特定目的基金の有効な活用を図り、同時に基金の取り崩しのみでなく将来的な財政需要に備えた積み立てについて検討する。 ・社会保障費等の増加、会計年度任用職員を含めた人件費の増加、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中で予算編成を行うことから、既存事業の必要性・妥当性を精査し、財政調整基金の健全な資金運用に努める。	財政管理課
		減債基金費	3				
		環境保全基金費	0				
		小中学校建設基金費	9				
		教育振興基金費	328				
		ふるさとよしだ寄附金基金費	283,704				
		新型コロナウイルス感染症経済変動対策貸付資金利子助成金基金費	0				
214	予備費事業	予備費	0	・災害等の被害や不測の事態に備えるため、財政の均衡を阻害しない範囲内で予備費を措置し、事業内では対応できない緊急性のある不測の事態について、予備費を充用している。	現状のまま継続	・引き続き、財政の均衡を阻害しない程度の金額で予備費を設け、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応する。	財政管理課
215	税務総務事業	税務総務費	14,169	・税に関する専門知識習得のため、各種研修に積極的に参加している。 ・各種実態調査の実施により滞納処分を進め、公正な収納事務に取り組んでいる。	現状のまま継続	・引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。	税務課
216	賦課徴収事業	賦課徴収費	40,654	・納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組んでいる。 ・滞納者の各種実態調査(預金、給与、生命保険、年金、関係機関等)を早期に実施し、滞納処分を進めている。 ・国民健康保険税における年金特別徴収額について、平準化を実施することで、町民の利便性及び国民健康保険税制度への理解向上につながるよう取り組んでいる。	現状のまま継続	・納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組む。 ・引き続き、滞納者に対する各種調査を早期に実施し、滞納処分を進める。	税務課
217	会計年度任用職員対策事業	会計年度任用職員対策事業費	2,099	・社会保険、労働保険実務研修に参加する予定である。(担当職員) ・令和4年10月4日～7日に健康診断(健康診断・総合判定(特定検診)、胸部レントゲン健診、胃部エックス線検査)を実施する予定である。 ・社会福祉協議会との合同実施となっている中、コロナ対策として密を防ぐため、開催日数を3日から4日とし、効率的な運営を図る。 ・職員のメンタルヘルスの向上に繋がるよう、ストレスチェックの診断結果を活用する。	現状のまま継続	・引き続き、行政運営を効率的かつ円滑に進めるため、必要に応じて会計年度任用職員を任用する。	総務課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
218	人事管理事業	人事管理費	5,727	- 採用試験の実施及び再任用等を適切に実施する。 - 年間を通して優秀な人材を確保するため、統一試験以外の試験を実施する。 - 円滑な行政運営を維持するため、年度途中(7月1日)での採用を実施する。	見直しの上で実施	令和4年度に策定する定年延長に伴う「定数管理計画」に続き、「新たな職制」及び「再任用制度」等について、効率的な行政運営に資するための制度構築を行う。	総務課
219	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	4,354	- 産業医による健康相談を毎月第2火曜日に実施している。 - 新規採用職員全員を対象とした産業医の健康相談を実施する予定である。 - 令和4年10月4日～7日に健康診断(健康診断・総合判定(特定検診)、胸部レントゲン健診、胃部エックス線検査)を実施する予定である。 - 社会福祉協議会と共同実施となっている中、コロナ対策として密を防ぐため、開催日数を3日から4日とし、効率的な運営を図る。 - 職員のメンタルヘルスの向上に繋がるよう、ストレスチェックの診断結果を活用する。	現状のまま継続	- 地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する必要がある。 - 平成27年度から義務化された、事業主によるメンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」を継続して実施する必要がある。	総務課
220	職員研修事業	職員研修事業費	2,089	- 例年どおり階層別研修を実施する。 - 自治体DXの推進を図るため、さらに全職員の意識を醸成するための次のステップの研修を実施する。 - コロナ禍の状況にあっても、研修に参加できる環境を整備するとともに研修機会の確保を図る。	現状のまま継続	地方分権に伴う自律的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き職員研修を実施する。	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野2 高度情報化

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
221	情報化推進事業	情報化推進費	75,513	- 吉田町DX推進計画作成に取り組み、吉田町におけるデジタル化のビジョンを共有することを目指す。 - デジタル化された行政サービスを導入するため、オンライン申請などの手段を各課と調整して導入する。 - 職員の情報リテラシー向上、DXに対する意識醸成のため、研修や説明会等を行う。	見直しの上で実施	- 令和4年度に策定する吉田町DX推進計画(基本計画)に基づき、具体的なデジタル技術を導入するため、新たに個別計画を作成する。 - オンライン申請について、令和4年度にオンライン化した27手続以外において、更にオンライン化を進める。 国、県のデジタル関連施策について、指定年度までに完了すべき事業を適正に実施するとともに、今後示される新たな方針等についての情報を収集し対応していく。	総務課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和5年度の方針	令和5年度の方針	
222	情報公開制度推進事業	情報公開制度推進費	2,764	・引き続き、吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護条例に基づき、適正に事業を進める。 ・改正個人情報保護法の施行に伴い、関連例規の改廃及び整備を行っている。	現状のまま継続	・吉田町情報公開条例及び吉田町個人情報保護法施行条例(仮称)に基づき、適正に事業を進める。	総務課

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 4 広報・広聴

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方角性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
223	広報・広聴事業	広報・広聴事業費	9,006	・読者にとっての「見やすさ」、「分かりやすさ」を第一に考えて広報よしだの製作に努めていく。 ・広報よしだの配架依頼先を増やすなど情報弱者を発生させないように努めていく。 ・作る側と見る側の双方が利用しやすいホームページとなるようレイアウト等の見直しを行う。 ・LINE公式アカウントを活用し、町からの情報発信を充実させる。 ・広報紙への掲載のために取材した情報をホームページにも掲載し、迅速に情報提供を行っていく。	現状のまま継続 ・引き続き、わかりやすく見やすい広報紙の作成に心がける。 ・町民への説明責任を果たすとともに、町政に対するニーズを的確に把握し各種施策に反映させるため、引き続き、どこでも訪問しますDAY、町政報告会、お問い合わせフォーム等による広聴事業を実施する。 ・町民にとって分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページのレイアウト等について検討していく。 ・公式LINEにおいて積極的に情報を発信していく。 ・広報紙とホームページとの連動を強化していく。 ・公式LINEは、令和3年度の運用開始から今に至るまで、登録者数は増加を続けている。社会情勢の変化等にに合わせて新たなサービスとの連携等を検討しつつも、情報発信の面では現状の運用を維持する。	総務課 企画課
		広報・広聴事業費 (繰越明許)	2,090			

第 7 章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野 5 住民参画

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
224	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	386	・引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。(吉田町表彰授与式:令和4年11月9日(水)開催予定)	現状のまま継続	・町政に対する関心や参画意識を高めるため、引き続き、条例等に基づき、まちづくりに大きく貢献した住民を表彰する。	総務課

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
225	住民参画推進事業	住民参画推進事業費	0	・市町市民活動担当課長会議が開催され、他市町の担当者等との意見交換等を行った。 ・NPO法人設立支援として、ふじのくにNPO活動センターと連携し、設立を目指す団体等に各種情報提供等を行う。 ・県等が主催する説明会に積極的に参加し、そこで得た情報を住民へ向けて発信する。	現状のまま継続	・住民参画がさらに図れるよう、当町に合った住民参画手法を検討する。	企画課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり 分野6 男女共同参画・人権尊重

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の実施状況	令和5年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
226	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	466	・広報よしだ6月号へ男女共同参画週間の記事を掲載予定。 ・庁内の男女共同参画に関する取組の進捗状況及び令和4年度の方針を確認している。 ・よしだ未来フォーラム開催に向けて準備を進めている。	見直しの上で実施	・吉田町男女共同参画プラン検討委員会を開催し、多様な視点からプランの評価及び進捗状況を把握する。 ・町内事業所における男女共同参画社会を推進するため、町内事業所への意識啓発方法を検討し、静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」事業所及び団体数の増加に努める。	企画課
227	地域福祉推進事業(人権啓発事業)	人権・地域改善費	255	・人権啓発活動については、コロナ禍の状況を見ながら事業実施に向けて検討する。 ・隣保館運営については、地域住民の生活相談や生活改善指導など行いながら身近な会館としての機能を維持させていくが、将来的に会館の在り方についても地域住民からの意見を伺う。	現状のまま継続	・引き続き人権啓発活動を実施しながら明るい差別のない社会の実現に努めていく。	福祉課
		神戸西会館運営費	1,795				
228	人権教育事業	人権教育事業費	1	・人権教育は、すぐに理解・納得することは難しい問題である。コロナ禍のため、多数の人を集める等は難しい状況が続いているが、担当者が様々な人権についての知識を得るために引き続き研修会に参加していく。また、人権教育講演会等「人権について考える場を提供する」ことで町民が人権問題に対する正しい理解と認識を深める機会を提供する。	現状のまま継続	・今後も、人権問題に対する正しい理解に向け、人権教育講演会の開催や広報活動等により町民の人権意識の向上を図り、加えて担当職員の研修会等への参加を継続することで職員の資質向上を図っていく。	生涯学習課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

分野7 ユニバーサルデザイン

No.	実施計画事業名	令和3年度の予算事業		令和4年度の取組状況	令和5年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
229	ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザイン推進費	0	・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を活用し、防災公園屋外トイレのユニバーサルデザイン化、学習ホール駐車場照明LED化、住吉会館照明LED化を実施する。 ・ユニバーサルデザインを推進するための体制整備を検討する。	現状のまま継続	・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、事業を実施する。 ・「誰もが暮らしやすいまち」に向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、ユニバーサルデザインを推進する体制を整備する。	企画課